

令和6年度使用

小学校において使用する教科用  
図書 の 選 定 に 必 要 な 資 料

隠岐採択地区教科用図書採択協議会

各発行者記号は次のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍	I	光村図書出版
B	大日本図書	J	帝国書院
C	開隆堂出版	K	新興出版啓林館
D	学校図書	L	日本文教出版
E	三省堂	M	大修館書店
F	教育出版	N	文教社
G	教育芸術社	O	光文書院
H	信州教育出版社	P	G a k k e n

選 定 に 必 要 な 資 料

保健科

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の 実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活と の関連についての工夫	6. その他	
A	<p>・1時間4ページの構成となっており、イラストを中心に興味が持てるように作ってある。</p> <p>・ステップごとに記述欄を設け、子どもたちが自分の意見を記入できるようにになっている。</p>	<p>・全ての章が4つのステップで構成されている。 〔気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→生かす〕</p> <p>・章末では、簡単なまとめの問題も掲載されている。</p>	<p>・QRコンテンツ全100点掲載されており、個別での学びも可能にしている。</p> <p>・導入の写真をダイナミックに見せ日常を想起させ、興味を引き出せるようにしている。</p>	<p>・呼吸法やけがの手当ての仕方の実習動画があるなど、手本が分かりやすくなっている。</p> <p>・性の構成要素である4つを示し、性の多様性を表現している。(3・4年p.38)</p> <p>・各章の最初のページにSDGsの主な目標が示されており、学習を多様な視点から考えたり捉えたりできるようになっている。(3・4年p.6, 26, 5・6年p.4, 20, 44)</p>	<p>・「スキル」という項目が新設され、命や健康を守るために必要なものにはマークがつけられている。</p> <p>・他教科や資料とのつながりをページ数や単元名で記し、つながりが意識できるようにしてある。</p>	<p>・全てのステップ4には、QRコンテンツでワークシートがつけられており、タブレット端末で共有や提出ができると考えられる。</p> <p>・どの章でも「まとめる・生かす」場面で、自分の生活を振り返る記述欄が設けられていて既習事項を活用してこれからの自分について考える工夫がされている。</p> <p>・教科書の記述を補う「言葉の解説」が適切に配置されている。(3・4年p.35, 41)</p>	<p>・自分の考えや気づきを記入するノート欄が多くあり、参加型の学習になる工夫がされている。</p> <p>・全ての章が4つのステップ(気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→まとめる・生かす)で構成され、児童が学習を進める中で考えをもったり整理したりしやすい構成となっている。</p>
B	<p>・1時間1見開き〔2ページ〕を基本とし、統一されたレイアウトになっているので、見通しをもって学習しやすくなっている。</p> <p>・「ここで学ぶこと」で本時のめあてがはっきりと示され、児童の学習に対する構えができるよう工夫されている。</p>	<p>・章の始めには、自分が知っていることをチェックする項目や記述する欄が必ず設けられている。</p> <p>・見つける→考える、やってみる→まとめる→広げる、深めるの4ステップで構成されている。</p> <p>・教科書に折り込みがついており、主体的に問題に取り組むことができる。</p> <p>・各章の最初にゲームやクイズが設定されており、楽しんで取り組むことが予想される。</p>	<p>・3・4年 体の発育・発達では、赤ちゃんの手形と現在の自分の手を書いて比べるようにできている。</p> <p>P25</p> <p>・ウェブコンテンツには、各項目ごとに穴埋め問題が用意されている。</p>	<p>・家庭や地域で保健の学習が活用できるものにはマークがつけられている。</p> <p>・3, 4年→5, 6年→中学校とつながっていくように巻末ページが設けられており、学びの持続性を意識できる。</p> <p>・家庭での生活習慣の改善や、地域での安全確認など、学校以外でも活用できるようにになっている。</p>	<p>・現代的な課題として、性の多様性、SDGsを取り上げている。特に感染症については、大きく扱っている。</p> <p>・教科書全体を通して、道徳教育との関連を重視した内容となっている。</p> <p>・(よりよい人間関係、自分や友達を大切に、伝統文化、生命の尊重など)</p> <p>・中学校の学習とつながりがあるものは、マークで示されている。</p> <p>・他教科と関連しているものには教科の名前がついたマークがある。</p>	<p>・各単元の最後にある 学 年のまとめは、既習事項が活用がしやすくなるように振り返りや表示、記述方法が工夫されている。</p> <p>・「すいみんと成長ホルモンの図が1日の流れで分かりやすく示してあり、なぜ早く寝るとよいのか理解でき、自分の睡眠を改善しやすくなるよう工夫されている。(3・4年 p.40)</p>	<p>・1時間1見開き〔2ページ〕を基本とし、統一されたレイアウトになっているので、見通しをもって学習しやすくなっている。</p> <p>・章の始めにゲームやクイズを掲載し、それを通して学習の課題に気付いたり、学習への興味・関心を高めたりできるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

保健科

N O . 2

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
M	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストが多めに配置されており、読解が苦手な児童にとってわかりやすいものとなっている。</li> <li>写真が少ないことにより、実際のイメージを持ちづらい可能性も考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の流れが3ステップで構成されている。</li> <li>話し合う時間が設定されており、対話的に学習を進める構成になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコンテンツが全62点あり、各ページにはQRコードで保健クイズが設定されており、楽しみながら活動できる。</li> <li>各章の導入部分では、著名人が健康や安全についての対話形式で取り上げられており、学習内容に興味を持てるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の振り返りが1ページとっており、知識の定着を図ると同時に、楽しめたことを現在や将来の生活に生かせるようになっている。</li> <li>5, 6年不安やなやみへの対処 (p16-18) 技能の実習を重視した構成になっている。</li> <li>共生社会についての理解が深められるようにしており、個人差、多様性、コミュニケーションスキルについてを扱っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を広げ、深めたいときの資料が51点用意されている。</li> <li>体育と密接に関わらせており、「体育の窓」というコーナーを掲載し、運動と健康の関連について具体的に記されている。また、「体づくり運動」においては保健の授業においても学習できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホ・ゲーム依存、新型コロナウイルス、ICTと健康など今日的課題にも対応している。</li> <li>見出しや説明なども含め全ての文章が文節で改行されていることに加え、人物イラストの表情が豊かで、児童にとって内容を読み取りやすくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストが多めに配置されており、読解が苦手な児童にとってわかりやすいものとなっている。</li> <li>体育と密接に関わらせており、「体育の窓」というコーナーを掲載し、運動と健康の関連について具体的に記されている。また、「体づくり運動」においては保健の授業においても学習できるようにしている。</li> </ul>
N	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストが多めに配置されており、読解が苦手な児童にとってわかりやすいものとなっているが、5, 6年生は分量が多い。</li> <li>記入欄は少なく、別でワークシートを準備するなどの必要があると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入の部分で、3, 4年生は必ず自分のことについてのチェックすることができるようになっていいる。5, 6年生は、イラストやグラフから考えるようになっている。</li> <li>学習の流れは2ステップとなっており、調べよう→考えようの流れになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の終わりには、〇〇宣言とあって、各章で考えたことを自分なりにまとめるようになっている。</li> <li>「毎日の生活とけんこう」では、1日の生活リズムについて、「けんこう」「ふけんこう」を明記して例示することで、児童が健康と生活リズムのつながりを意識しやすくなるよう工夫されている。(3・4年 p.8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エピソードというページを設け家庭生活などで使える知識や実技を紹介している。</li> <li>自助、共助、公助をとりあげ、自分たちの地域において何をすべきか、チェックリストを活用して考えられるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ選手が健康に対してどのように気を配っているか記されている。</li> <li>手の汚れだけでなく足の裏の汗や汚れ、靴下とハンカチの汚れにも着目し、清潔にするべき場所を具体的に示している。(3,4年 p11-13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「交通事故の防止」について、各都道府県の交通事故の死者数、負傷者数を紹介することで、自らの実態を知ったり、他県と比較したりできるように工夫されている。(5・6年 p.26)</li> <li>「もっと考えよう 課」では、世界各国の刑を記載するなど薬物の危険性や乱用防止について考えるための工夫がされている。(5・6年p.77)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自助、共助、公助をとりあげ、自分たちの地域において何をすべきか、チェックリストを活用して考えられるようになっている。</li> <li>記入欄は少なく、別でワークシートを準備するなどの必要があると考えられる。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

保健科

N O . 3

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
O	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章毎に4コマ漫画が掲載されており、子供が興味を持って学習を進めやすくしている。</li> <li>分量が多く、読むのが苦手な児童にとっては、大変な内容だと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見つける→知る→生かすの3つの構成で作られている。</li> <li>周りの友達の意見を書くようになっており、多様な考えを取り入れやすい。</li> <li>各章の最初に、学習内容と身近な生活をつなぐ漫画を掲載し、学習の必要感がもてるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入部分や章末の部分に各界の著名人からのメッセージを配置している。スポーツ界以外の分野も扱っているため、健康は幅広い分野で重要と分かるようになっている。</li> <li>スポーツ障害として児童を掲載し、学習の必要感がもてるように工夫されている。(3・4年p.38)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことを持ち帰って、生かすようにしてあるなど、身近な社会を意識して学習する活動が設定されている。</li> <li>性に関する悩みやホットラインが電話番号だけでなく、より細かく記載されている。(3・4年p.33)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展的な内容を多く取り扱っており、その内容だけで1時間の授業ができるように構成されている。</li> <li>「病気の予防」では、新型コロナウイルス感染症をとりあげ、既習事項を使って予防できることなどを紹介し、実生活に生かせるように工夫している。(5・6年p.46)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGSの特集ページが掲載されており、世界で起きている事象にも目を向けられるようになっている。</li> <li>各章の終わりに学習のまとめのページを設けており、易しい選択問題や思考を助けるヒントの提示など、考えをもちやすくなるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展的な内容を多く取り扱っており、その内容だけで1時間の授業ができるように構成されている。</li> <li>SDGSの特集ページが掲載されており、世界で起きている事象にも目を向けられるようになっている。</li> </ul>
P	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間が4ページ構成になっており、導入のところには、自分の経験をもとに振り返って考えるようになっている。</li> <li>悩みの対処法やリラックスの方法について4ページにわたってとりあげている。具体的な記述が多く、児童にとって取り組みやすい内容になっている。(5・6年p.20-23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の始めに、学習の進め方が書いてある。</li> <li>記述欄が多く設けられており、学習者が主体となって進められるようになっている。</li> <li>各時間のはじめに日常を振り返る場面を設け、課題をつかめるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコンテンツが42点掲載されている。各時間毎に振り返りシートがあり、タブレット端末で提出、保存ができることが考えられる。</li> <li>科学的な理解に結び付けられるように「見えないものを見る化」している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の冒頭に健康と夢の関りが明示されている。</li> <li>学習したことを生活につなげる振り返りの様式になっている。</li> <li>振り返りシートの中に「もっと学習したいこと」を書く欄が設けてあり、児童が学びを生活に生かしたり結びつけたりして考えられるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な課題を豊富に取り上げており、性の多様性やICT活用の健康や安全、新型コロナウイルスなどについての記載がされている。</li> <li>前後の学年や他教科の学習内容のつながりを「つなぐ」マークで示してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての小単元に「話し合い」場面が設定されており、対話的・協働的な学びへのつながりを意識した構成となっている。</li> <li>各章のとびらのページ「つなぐ」では、学習内容と関連の深い職業を紹介し、インタビューを掲載するなど、キャリア教育の視点とつなぐ工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>各章のとびらのページ「つなぐ」では、学習内容と関連の深い職業を紹介し、インタビューを掲載するなど、キャリア教育の視点とつなぐ工夫がされているため、教科横断的な指導が期待できる。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

国語科

NO. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の 実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活と の関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○1年上では、スタートカリキュラム対応期の教材としてカラフルな紙面で構成されている。オノマトペが多く使われており、発達段階にに応じているとともに、楽しみながら表現の幅を広げていく工夫がなされている。</p> <p>○5・6年生では、中学校への移行を考慮し、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、1冊の教科書で対応している。</p>	<p>○高学年の教材には、SDGsや情報化社会など、現在から将来を見渡した教材が意欲的に配置されており、道徳教育としての視点（環境保全や情報モラル）が浮かび上がってくる。</p> <p>○説明文の次に「情報のとびら」があり、その後関連した書く単元が配列されている。（4年下 p.92、94）</p>	<p>○読み物教材では、単元冒頭の挿絵や写真を大きくすることでインパクトを持たせ、内容への興味・関心を高める工夫がある。</p> <p>○各単元のはじめに「思い出そう」のコーナーが定着しており、縦の学年系統を踏まえたり、既習事項を確認したりすることで、学びの連続性を意識した学習が展開されやすいよう構成されている。</p>	<p>○読書単元「本は友達」と「○年生の本だな」が二部構成となっており、「本は友達」で活用したくなるような選書がされている。さらに、連動した著名人によるエッセイも読書の世界に誘う効果がある。</p> <p>○「地域のみりよくを伝えよう」では、自分が住む町の魅力を調査し、記事にする言語活動が設定されており、故郷への興味・誇りにつながる内容になっている。（5年 p.58）</p>	<p>○「情報のとびら」が各学年段階にあわせて漫画で構成されており、楽しみながら情報活用能力を身につけるように工夫がされている。</p> <p>○「図書館へ行こう」のコーナーで、2年生の段階から分類表に触れており、生活科の学習や日常の読書活動、調べ学習などで活用しやすくなっている。</p>	<p>○巻末の漢字一覧に一字ずつ枠があり、ユニバーサルデザインとしての配慮がされている。</p> <p>○都道府県の漢字が1ページにまとめられている。</p> <p>○ローマ字学習では、教科書に書き込んで練習することができるようになっている。</p>	<p>○国語科で学んだことを各教科で活用できるように、読書や情報活用に関する内容が充実している。</p> <p>○1年生入門期を楽しくスタートできるような多様な工夫がなされ、高学年では、中学校への移行を考慮し1冊の教科書で対応している。</p>
F	<p>○全学年分冊化を採用することで軽量化され、ゆったりとした読みやすい紙面構成になっている。</p> <p>○1年（特に入門期）に文字の大きさによる読み分けや「たのしくよう」シリーズで清音・濁音・拗音に親しめるよう表記が工夫されている。</p>	<p>○4年生で落語・6年生で哲学を教材に取り入れるなどの独自の内容がある。</p> <p>○読み物教材では、学習のてびきがあり、見通しをもち主体的に学習にむかえるように工夫されている。</p>	<p>○写真を効果的に使い、興味を引き、想像力をはたらかせながら学習にむかえるよう工夫されている。</p>	<p>○読書生活を豊かにするために、「広がる読書の世界」コーナーと付録にも4ページに渡り、紹介されている。</p> <p>○「ちいきの行事」では、調べて発表する言語活動が設定され、具体的な行事やそれに携わる人々の思いや願いに触れることができる内容となっている。（3年 p.74）</p>	<p>○巻末に「付録」を掲載し、「言葉の道具箱」では、表記の仕方や外国語との語順の違いなど、言葉に関する内容が幅広くまとめられている。</p> <p>○全学年「読書の広場」で読書活動と情報活用についてまとめられている。</p>	<p>○巻末の漢字一覧の新出漢字が大きくて見やすく、同時に筆順を確認することもできる。</p> <p>○都道府県の漢字では、地図のイラストが大きく掲載されている。</p> <p>○ローマ字学習は、3年生でまとめられている。</p>	<p>○全学年分冊化され、ゆったりとした紙面構成となっている。また、写真や絵を効果的に使い、興味をひき想像力をはたらかせながら学習にむかえる工夫がなされている。</p>

選定に必要な資料

国語科

N O . 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○5・6年では、中学校への移行を考慮し、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、1冊の教科書で対応している。</p> <p>○1年入門期に躍動感にあふれる挿絵が9ページに渡って描き、話したくなるような内容になっている。</p> <p>また、吹き出しを色分けしていることによって、会話の仕方が視覚的にわかりやすくなっている。</p>	<p>○宇宙、防災、食品ロス、デジタル機器など多様なジャンルの教材が掲載されている。</p> <p>○説明文では、本教材の前に練習教材があり、構成をとらえやすくなっている。</p> <p>○巻頭に「国語の学びを見わたそう」が示され、学び方や身につける力について見通すことができる構成となっている。</p>	<p>○「季節の言葉」では、季節に関する語句や詩、文章がイラストや美しい写真とともに掲載されており、日常生活の中の季節の移ろいに目を向けやすくなっている。</p> <p>○2年生以上では、カンジ博士が登場し、漢字の使い方などに親しみやすくなるように工夫されている。</p>	<p>○読み物教材の後には、関連した「この本、読もう」コーナーが設けられ、また付録にも「本の世界を広げよう」コーナーがあり、読書の幅を広げる工夫がされている。</p> <p>○「いなばの白うさぎ」が地域に伝わる民話・神話として紹介され、地域の文化に関心を高め、愛着やほこりをもつことにつながるないようにしている。(2年 p.62)</p>	<p>○「言葉について考えよう」シリーズが漫画で導入され、日常の言葉についての関心を高めやすくなっている。</p> <p>○「言葉」や「情報」のコーナーを特別に作り、語彙力や情報活用能力を高める工夫がされている。</p>	<p>○巻末の漢字一覧は、送り仮名が太字になっており、正しい送り仮名を意識できるようにになっている。</p> <p>○都道府県の漢字を4年生で2回、5年生でも復習として取り上げている。</p> <p>○ローマ字学習を複数学年に分けて、繰り返し学習できるようにになっている。</p>	<p>○1年生の入門期は「話す・聞く」を重視した紙面構成となっており、また、「季節の言葉」「言葉について考えよう」など言葉について繰り返し取り上げ、言葉を大切にされた教科書構成となっている。</p> <p>○題材として、宇宙、防災、食品ロス、デジタル機器など多様なジャンルが取り上げられている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

書写

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	○全学年半紙と同じ比率のB5版で、右ページにポイント、左にお手本が掲載されている。	○全学年掲載の「学びを生かそう」では、読み手を想定した学習を設定し、1年間の学習を生かせるようになっている。	○巻頭で日常の課題解決につながる流れを漫画で示し、目的意識をもって学ぶことができるよう工夫されている。	○「文字といっしょに」では、浜田市の石州和紙の作り方が掲載されており、職人の思いも取り上げている。	○他教科と関連する箇所をリンクマークで示し、書写で学んだことがどのようなように生かせるかわかるようになっている。	○左利きと右利きの鉛筆の持ち方の写真を示したり、練習用書き込み欄を左右に設けたりして、聞き手の違いに配慮している。	○他教科との関連する箇所にリンクマークをつけ、教科横断的な視点から学習に取り組めるよう工夫されている。
F	○全学年半紙と同じ比率のB5版で右ページにお手本、左ページにポイントを配置することで、まずは文字をじっくり見てポイントを知るといった流れになっている。	○1年間の学びを可視化できるような目次構成になっており、また、1時間に見通しをもつ「学習の進め方」も掲載され、主体的に学習にむかえるようになっている。	○表紙が写真で手に取る楽しさがある。	○「文字の世界」で郷土かるたを紹介し、郷土かるたを通して自分達の町についても興味を持てるように工夫されている。	○「レッツ・トライ」では、習得した書写の力を他教科等で使う学習を示し、関連を図ることができるよう工夫されている。	○左利きについては、QRコードが載せられており、聞き手の違いに配慮している。	○右ページに文字、左ページにポイントが示されており、文字の形などをじっくり見てから取り組むことができるような構成になっている。





選定に必要資料

音楽科

NO. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
F	<p>○スキルアップトレーニング、めざせ楽器名人では、継続的に演奏技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○音のスケッチでは、歌唱や鑑賞教材を用いて音楽づくりを楽しめるような工夫がされている。(3年P.51、2年P.59)</p> <p>○鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入は、8ページ構成で細やかなステップアップで、新出音も緩やかに段階を追って扱われ、発達段階に即して定着させる構成となっている。</p>	<p>○題材ごとに、左に題材名とめあて、右上に音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」という言葉で示され、新出事項は右ページの右端に掲載してある。(2年P.8-9)</p> <p>○全学年を通して拍が赤のハートで強調してあり、音の長さについて分かりやすく説明してある。(2年P.19)</p> <p>○鑑賞では、感じたことや気づいたことを書き込めるようになっている。(5年P.53)</p> <p>○「学習マップ」や「まなびナビ」により、見通しをもって主体的に学んだり、学びを深めたりできるよう配慮されている。(4年P.4)</p>	<p>○巻末の音楽ランドには、児童が親しみやすい曲や知っている曲が多く掲載されている。</p> <p>○見開き3ページを使った写真によりダイナミックな情景を捉えやすい。</p> <p>○「まなびナビ」に、思考力、判断力、表現力の育成につながる発問例が掲載されており、児童の気づきや思いを引き出す工夫がなされている。(3年P.40-43)</p>	<p>○左ページ上に「音楽もと」(要素)、巻末にはそのまとめと、音楽科で活用すべき言葉が記載されている。専門的な音楽用語を分かりやすく説明しており、言語化の手掛かりとなる。</p> <p>○「音楽ランド」に全学年で同教材を掲載し、合唱奏の程度をステップアップさせ、全校で取り組む工夫がされている。</p> <p>○日本の伝統音楽や郷土の音楽や楽器が系統立てて取り扱われている。(2年：太鼓、4年：箏、5年：篠笛)</p>	<p>○算数に関わる曲(九九の歌、単位の歌)や外国の曲など幅広く取り上げられている。</p> <p>○全学年に「にっぽんのうた・みんなのうた」が掲載されている。</p> <p>○わらべうたや季節のうたを多数掲載し、日本文化を大切に、生活の中で音楽を楽しむことができるよう工夫されている。(1年P.14-15、巻末)</p>	<p>○二次元コード(まなびリンク)を読み取ることにより曲の紹介や動画などを閲覧でき、児童の実態に応じた学びをサポートしている。</p> <p>○リコーダー運指表が折り込まれており必要に応じて開いて確認できるように工夫されている。</p> <p>○UDフォントを使用した、著作権保護の観点から、作詞・作曲者名などにふりがなをふっている。</p>	<p>○児童に馴染みのある曲や関心のある曲、外国の音楽など、幅広いジャンルの曲を掲載し児童の意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○音楽づくりは、伴奏づくりや旋律づくりなど楽しみながら創造性を発揮できる内容となっている。</p> <p>○歌詞の内容に合わせた美しい写真が、大きな紙面で掲載されている。児童が情景をイメージし、感動をもつて学習しやすい工夫がされている。(5年P.10-11)</p>
G	<p>○ねらいに沿って歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの教材がバランスよく配置されており、つながりをもって指導しやすい。</p> <p>○「音楽づくり」では、①②…と分かりやすい手順や振り返りの視点が示され、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれており、学びが積み重なるようになっている。</p>	<p>○「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」「つくる」など活動の内容や、そのポイントが示されており、児童が主体的に考える工夫がされている。</p> <p>○鑑賞では、感じたことや気づいたことを書き込めるようになっている。</p> <p>○題材のめあて(左ページ左側)、教材のめあて(左ページの上)が示され、学習する内容を児童がつかみやすくなっている。</p>	<p>○見開き全体を使った写真や大きなイラストにより情景を想像しやすい。</p> <p>○全学年共通のキャラクターで一貫性を持たせるとともに、吹き出しで児童の気づきや思考を促したり、児童の主体的、対話的な学びを促したりするよう工夫されている。(5年P.30-33)</p>	<p>○全学年で歌い継ぎたい「日本の歌」を取り上げている。</p> <p>○3年以上では、郷土の祭りや日本の伝統楽器・伝統芸とともに、吹き出しで児童の体験できる楽譜が掲載されている。4年の裏表紙には、「石見神楽」に取り組む様子が掲載されており、児童が地域の文化や芸能に興味・関心を持ち、身近に感じる工夫がなされている。</p> <p>○巻末の「みんなで楽しく」には、歌唱曲、合奏曲、鑑賞資料が掲載されており、実態に合わせて活用できるよう配慮されている。</p>	<p>○身の回りにある音に着目して興味関心を高める工夫がされている。(1年P.32-33、2年28-29)</p> <p>○特集で著作権や音楽の大切さについてふれ、生活の中での音楽の持つ意味を考える工夫がされている。</p> <p>○道徳教育や人権教育に配慮した教材が取り扱われている。(5年P.8)</p> <p>○3年生以上では、「みんなのうたのしく」に英語の歌を掲載し、外国語活動と横断的な指導ができるようになっている。</p> <p>○国歌「君が代」を大切に歌うことと他国の国歌を尊重する態度を養う観点でコラムを設け、国際理解につながるよう配慮されている。</p>	<p>○二次元コードにより、音楽づくりを試行錯誤して進めたり、参考となる音源を聴いたり、資料を読んだりすることができ、個別最適で深い学びとなるよう工夫されている。(6年P.15、30-31)</p> <p>○UDフォントを全編に使用したり、白を基調とするデザインを採用したり、囲みと色だけでなく形を変えることで、色覚特性をもった児童への配慮をしたりするなど、ユニバーサルデザインを取り入れている。(1年P.70)</p>	<p>○題材のねらいに沿って、教材がバランスよく配置され、様々な活動を通して楽しみながら学びが身につくよう工夫されている。</p> <p>○児童が「何を学ぶか」「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を具体的に示すことで、児童の主体的な活動を引き出すよう工夫されている。</p> <p>○二次元コードを読み取ることにより、タブレット端末で学習をサポートすることができ、児童一人ひとりの個別最適な学習につながる。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

社会科

NO. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○単元の「めあて」、「小単元の学習問題」、「本時のめあて」を構造的に示すことで、児童が主体的に問題解決的な学習ができるようになっている。○問題解決的な学習が進められるように、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程が明示され、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。</p> <p>○「活用のポイント」が、ドラえもんのイラストで示されており、「社会的な見方・考え方」が示されるよう工夫されている。</p>	<p>○5年「国土の地形の特色」→選択単元→「国土の気候の特色」→選択単元とすることで、それぞれの知識を分けておさえることができ、理解がより深まりやすくなっている。</p>	<p>○単元の終わりに「ひろげる」として、学習してきたことの発展的な内容や事例が記載されており、児童の興味・関心が高められるようになっている。</p> <p>○資料に関連する情報をQRコードで読み取れるようになっており、児童の興味・関心を高める工夫がある。</p>	<p>○4年「郷土の伝統」では、松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや地域の文化財を活用した町づくりについて取り上げられている。(4年p. 128-129)</p> <p>○5年「領土をめぐる問題」として竹島や尖閣諸島、北方領土等の記載がある。(5年上p14)</p>	<p>○「いかす」場面で、学習したことを生かして「公園づくりについて話し合おう」など、社会に参画したり、提案、発信したりする学習活動が設定されている。(3年p. 140-141、4年p. 94-95、5年p. 138-139、6年p. 58-59)</p> <p>○「教科関連マーク」で、他の教科との関連が明示されており、教科横断的な視点から学習に取り組むことができるようになっている。</p>	<p>○5・6年の教科書は、2冊構成になっていて(5年は上、下、6年は政治・国際編、歴史編)、その教科書で何を中心に学習をするのかが明確になっている。</p>	<p>○各単元、「学習問題をつくる」という流れから始まり「いかす」活動につなげていくことで、学習者の主体的・対話的で深い学びが意識されている。</p>
F	<p>○問題解決的な学習が進められるように、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習過程が明示され、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。</p> <p>○各学年の巻頭に社会的な見方・考え方の視点や方法を例示したコーナーがあり、社会科の学習の視点や方法について意識付けができるようになっている。</p>	<p>○5年「日本の地形や気候」の後に選択単元とすることで、地形と気候の特色を関連付けながら学習を進めていくことができるようになっている。</p>	<p>○「まなびリンク」で、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるようになっており、児童の興味・関心が高められるようになっている。</p>	<p>○5年「領土をめぐる問題」として竹島や尖閣諸島、北方領土等の記載がある。(5年p. 18)</p> <p>○5年「未来を作り出す工業生産」では、現在の製鉄に関連して雲南市のたたら製鉄が記載されている。</p> <p>○日本にある世界遺産として石見銀山が記載されている(5年p. 246 6年p. 137)</p> <p>○6年「共に生きる暮らしと政治」では、松江市のコミュニティバスが記載されている。(6年p. 44)</p>	<p>○「つなげる」場面で、学習したことを生かして「公園づくりについて話し合おう」など、社会に参画したり、提案、発信したりする学習活動が設定されている。</p>	<p>○各学年ごとに教科書が1冊にまとめられており、その学年の学習内容について見通しをもって学習を進められるようになっている。</p>	<p>○島根の事例が多く取り上げられており、社会科を身近なものとして感じながら学習することができる。加えて、郷土に対する理解や愛着を育むことも期待できる。</p>

選定に必要な資料

社会科

N O. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
L	<p>○問題解決的な学習が進められるように、「学習問題」「追及」「役だてる」という学習過程が明示され、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。</p>	<p>○持続可能な開発目標(SDGs)を取り上げ、これまでの学習を振り返りながら、自分たちにできることを考えられるようになっている。</p> <p>○5年「日本の地形や気候」の後に選択単元とすることで、地形と気候の特色を関連付けながら学習を進めていくことができるようになっている。</p>	<p>○資料に関連する情報をQRでコード読み取れるようになっており、児童の興味・関心を高める工夫がある。</p> <p>○6年「自然災害からの復興や復興の取り組み」では、平成26年・30年に起きた豪雨災害を取り上げ、比較的新しい事例が記載されている。(6年p. 46-47)</p>	<p>○5年「領土をめぐる問題」では、竹島と尖閣諸島について1ページを使って取り上げ、現在の取り組みや現状が詳しく記載されている。(5年p. 17-18)</p> <p>○出雲国風土記、隠岐国から都に送られた税の荷札が掲載されていて、郷土の歴史や文化に関心を向けることができるようになっている。(6年p. 81, p. 94)</p>	<p>○持続可能な開発目標(SDGs)を取り上げ、これまでの学習を振り返りながら、自分たちにできることを考えられるようにしている。</p>	<p>○各学年ごとに教科書が1冊にまとめられており、その学年の学習内容について見通しをもって学習を進められるようになっている。</p> <p>○各学年の学習内容の振り返りに加えて、次学年で学習する内容を記載し、学習の見通しを持てるようにしている。</p>	<p>○社会的な見方・考え方を働かせながら、問題解決学習を進められるように、「役だてる」場面では、SDGsに着目して考えられるようになっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

地図

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○A 4判、全102ページの構成で、全体的に多くの情報が掲載された地図になっている。</p> <p>○地図帳の見方・使い方について扱うページでは、3年生からの地図学習の導入を意識した構成になっている。(p. 7~14)</p>	<p>○地図をPDFデータでも閲覧でき、デジタル端末での利用に対応している。</p>	<p>○各ページで「マップでジャンプ」を使って、地図活用の力や新たな気づきが生まれるよう工夫されている。</p> <p>○QRコードが全体で30以上あり、QRコードを読み取るとそのページに関連したクイズや動画などのコンテンツが準備してある。</p>	<p>○竹島を中国地方のページで取り扱っている。写真と解説とともに竹島の地図が掲載されている。(p. 25)</p> <p>○「日本の歴史」では、世界とのかかわりの中で竹島の歴史について記載されている。(p. 80)</p> <p>○「伝統文化」では、美保神社の青柴垣神事(イラスト)が日本の伝統文化として紹介されている。(p. 81)</p>	<p>○社会以外の教科との関連も想定して作られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候(p. 69-70)</li> <li>・世界の料理・民族衣装(p. 62)</li> <li>・世界地図の主な国名に英語表記</li> </ul>	<p>○統計に各都道府県の主な農水産物・郷土料理について示されている。(p. 83-84)</p>	<p>○教科書の内容と関連した地域を取り上げている。</p>
J	<p>○A 4判、全120ページの構成で、情報量が多く、紙面を効果的に使って構成されている。</p> <p>○「地図のやくそく」「地図帳の使い方」など、基本的な事項を14ページを使って扱い、3年生の発達段階を意識した内容になっている。(p. 7~18)</p>	<p>○持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取り組みを理解できるようにSDGsの特設ページが設定してある。(p. 125-126)</p>	<p>○各ページで「地図マスターへの道」を使って、地図活用の力や新たな気づきが生まれるよう工夫されている。</p> <p>○QRコードを読み取るとそのページに関連したクイズや動画などのコンテンツが600以上準備されている。</p>	<p>○竹島を中国地方のページ以外でも取り扱い、「日本の領土とそのまわり」の中で日本固有の領土として取り上げ、写真と解説を踏まえながら紹介している。(p. 32)</p> <p>○「日本の歴史」では世界とのかかわりの中で竹島の歴史について示されている。(p. 110)</p>	<p>○社会以外の教科との関連も想定して作られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候(p. 97-98)</li> <li>・世界の伝統・民族衣装</li> <li>・世界地図の主な国名に英語表記</li> <li>・物語の舞台となった場所</li> </ul>	<p>○「日本の領土とそのまわり」では、日本の領土と周辺地域を表し、日本の範囲がはっきり分かるよう工夫されている。(p. 29, 30)</p>	<p>○3年生の発達段階を意識して、地図帳の使い方を丁寧に説明したり、情報量を絞った内容の地図を記載したりしている</p> <p>○竹島について中国地方のページだけでなく、日本固有の領土のページにも記載してある。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数科

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各単元において、身近な題材や既習の内容から学習に入り、スモールステップで学習が進められている構成になっている。</p> <p>○「算数のしあげ」は、問題の後に学習内容をまとめたものが記載されており、内容を振り返りながら復習できるよう工夫されている。(6年p.197)</p>	<p>○「単元プロローグ」では対話を通して単元全体の課題を見出してあり、対話をして学習が進められるような構成になっている。</p> <p>○「算数のしあげ」は、問題の後に学習内容をまとめたものが記載されており、内容を振り返りながら復習できるよう工夫されている。(6年p.197)</p>	<p>○「オープニングムービー」では、日常生活から課題意識をもち、学習への興味・関心をひきつける工夫がされている。(3年以上全20本)</p> <p>○身近なものと比較しながら1㎡や1㎡を実感できるように、AR(拡張現実)を使える工夫がされている。(4年下p.68, 5年上p.26)</p>	<p>○「今日の深い学び」を設定し、論理的思考力や数学的な表現力をさらに高められるようにしている。(6年p.127-129)</p> <p>○単元中盤から終盤にかけては、吹き出しや補助発問を段階的に減少させ、児童がそれまでに培った資質・能力を発揮し問題解決する機会を創出するよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>○「いかしてみよう」は、単元の学習で大切にしたい数学的な見方・考え方を振り返り、生活や次の学習へ生かそうとする態度を養うことができるよう工夫されている。(2-6年)</p> <p>○「私と算数」では、世界レベルで活躍する人と算数との関わりを知ることにより、算数の身近さや有用性を味わい、意欲が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○複式の年間指導計画が立てやすいように関連する内容の単元を同時期に実施できるように配置されている。(5年小数のかけ算, 6年分数のかけ算)</p> <p>○1年「なんじなんぶん」の学習では、時計を大きく示し、操作して学習できるように付録として針を付属する工夫がされている。</p>	<p>○「オープニングムービー」、「単元プロローグ」を設定することで、学習への興味・関心をもって取り組めるような工夫がされている。(4年下p.14)</p> <p>○単元前半で地租的な力をつけ、中盤から終盤にかけては、身につけた資質・能力を活用して問題を解決する力を培うような工夫がされている。(4年下p.21)</p>
B	<p>○1年はスタートカリキュラムに合わせ分冊になっている。2年以上の教科書が1冊で構成されており、振り返りや学び直しがしやすいよう配慮されている。</p> <p>○ページの左側に、問題をつかむ場面、自分で考える場面など、課題解決の過程ごとにタグがついており、スムーズに学習ができるよう工夫されている。(2年p.25)</p>	<p>○児童に意識させたい数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」としてまとめ、問題によって使い分ける様々な見方・考え方を「ひらめきアイテム」として掲載している。(2年以上p.11)</p> <p>○巻頭で「算数の学び方」を提示し、話合いの基本となる話し方、聞き方を学年に応じた形で示す工夫がされている。(2年以上p.8, 9)</p>	<p>○「ふくろう先生になるほど算数教室」を設定し、おもしろい算数の問題や話題に触れることで、算数の興味・関心が高まるよう工夫されている。(3年以上)</p> <p>○単元の導入は導入デジタルコンテンツによって動的に見ることができ、興味・関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○「じっくり深く学び合おう！」では、協働的な学びを通し、自分の考えを図や式、文章などで表現する活動ができるようになっている。(6年p.37)</p> <p>○「読み取る力をのばそう」では、低学年から全国的学力調査などで課題とされている読解力、表現力、活用力を高められるよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>○「おうちで算数」では、家庭との連携を図り、学習したことを家庭での生活にも生かせるように促す工夫がされている。(1-3年)</p> <p>○「新しい学習がはじまるよ」では、導入の場面において、他教科や実生活との関連が図られるよう工夫されている。(4年p.120, 190, 212)</p>	<p>○「プログラミングにちょうせん」を1年生から設定し、2年生以上ではアンブレラプログラミングとビジュアルプログラミングの教材を取り入れる工夫がされている。</p> <p>○めあてに対応するまとめ「発見！」として掲載し、児童の言葉で学習を振り返れるようになっている。</p>	<p>○「ひらめきアイテム」や「タグ」により、数学的な活動で働かせる見方・考え方や問題解決の過程を児童が確認しながら学習を進められるようになっている。(2年p.11, 53)</p> <p>○2年生以上で教科書を学年1冊で構成することで、既習の学習を振り返りやすくなっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数科

N O . 2

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○既習事項を想起し、それを基に解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりできるよ吹き出しを有効に活用している。(2年上 p. 55)</p> <p>○6年に別冊をつけている。小学校の内容を振り返るとともに、中学校の内容の一部に触れられるようになっており、中学校の学習へのスムーズな接続に配慮されている。</p>	<p>○子どもたちにとって理解の難しい割合の学習に関する単元を3年生以上で特別単元に位置付け、掛け算割り算の後に重点的に学習できるように構成されている。</p> <p>○単元末の演習問題「できるとともに、中学校の内容の一部に触れられるようになっており、中学校の学習へのスムーズな接続に配慮されている。」</p>	<p>○算数の学びに特に重要だと考えられる9つの「見方・考え方」を9体の「考え方モンスター」とキャラクター化し、教科書を開きながらつねに「考え方モンスター」を見ることができるよう工夫されている。</p> <p>○単元の導入は漫画のような形式で示されており、学習意欲が高められるよう工夫されている。(4年下 p. 33)</p>	<p>○全国学力調査の正答率が低い内容や、児童がつまづきやすい内容を「算数パトリール隊」で確認できるようになっている。(4年下 p. 73)</p> <p>○「図や表を使って問題を考えよう」では、問題解決にあたって、図や表などをよりよく活用し系統的に学習ができるよう工夫されている。(3-6年)</p>	<p>○「算数をつかって」のコーナーでは、SDGsとの関連を図るだけでなく、自己評価としてパフォーマンス評価ができるよう工夫がされている。(3年下 p. 71)</p> <p>○「もっと算数」の「深めよう」では、学んだことを使って、生活の中の問題を解決しようとする態度を育てようとしている。</p>	<p>○表紙は、日常生活にあるものを見立てることで、算数が身近に感じられるよう工夫されている。</p> <p>○2年上から6年別冊までの「○年生で見つけた見方・考え方」をつなげて1枚のマップにすることができ、見方・考え方の連続性と系統性を視覚的に捉えられるよう工夫されている。</p>	<p>○「考え方モンスター」により、問題解決において働かせる数学的な見方・考え方を意識して学習を進められるようになっている。(3年下 p. 162)</p> <p>○「算数をつかって」では現代の課題を算数を用いて考え、さらにパフォーマンス評価をすることで自分との関わりについて振り返る工夫がされている。(3年下 p. 71)</p>
F	<p>○単元間に「つながるミカタ」が掲載されており、働かせる見方・考え方を顕在化し、問題解決の場面で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「学びのマップ」が掲載されており、分からない箇所や関連する内容を振り返りやすいよう工夫されている。</p>	<p>○「算数ワールド」では、「ロボットレース」や「ドッジボールのコートをかこう」など、題材によって対話する必要性が出る工夫がされている。(2年上 p. 117, 3年下 p. 104)</p> <p>○問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるように授業開きの特設教材が用意されている。</p>	<p>○単元のまとめでは、4コマ漫画でどのような数学的な見方・考え方を働かせたかについて楽しく振り返りができるよう工夫がされている。</p> <p>○表紙では、各学年の学習内容と関連するイラスト、それにまつわる「さんすうアニメ」を二次元コードからアクセスできるよう工夫がされている。</p>	<p>○学年始めの単元では、授業モデルを掲載し、問いをつなげる展開を学びのサイクルに位置付ける工夫がされている。</p> <p>○学年末「算数を使って考えよう」では、全国学力調査をふまえ、学習したことを総合的に活用する問題を掲載し、情報の読み取り、関連づけ、批判的考察につながるよう工夫されている。(2-6年)</p>	<p>○単元末「学んだことを使おう」では、算数の学習と日常の場面をつなげ、問題を解決することで「使える」学力になるよう工夫されている。(2-6年)</p> <p>○最後のページには、下学年は「算数見つけた！」のコーナー、上学年はコラムが掲載してあり、生活と算数をつなげる工夫がされている。</p>	<p>○かけ算のきまりを「交かんのきまり」「分配のきまり」など、数学の用語を用いて定義している。(3年上 p. 16, 18)</p> <p>○4年以上の「広がる算数」では、算数の学習と現実世界をつなげる探究的な教材を掲載し、算数を実生活中で活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○単元末の漫画では、数学的な見方・考え方を振り返り、「学びのマップ」では、学習内容の系統性が確認できるようになっている。(5年 p. 188, 300)</p> <p>○数学の用語を用いた定義づけにより、数学的な表現を理解し、活用する力を培うよう工夫されている。(3年上 p. 16)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数科

N O . 3

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○各単元において、身近な題材や既習の内容から導入し、児童の思考の流れに沿ったスモールステップの構成となっている。(3年上p. 96-101)</p> <p>○学習到達度に合わせて振り返りができるようにデジタルコンテンツは全ての学年を選ぶことができるようになってきている。</p>	<p>○めばえ・めあて・まとめの構成により、気付きからめあてをもって学習に向かい、まとめたことから次時の課題をもつというサイクルの学習となるよう工夫されている。</p> <p>○「面積」では、底辺と高さの関係を見つけられるよう直角三角形から導入して、三角形や平行四辺形に移行していく構成となっている。(5年p. 135)</p> <p>○主問題のまとめを同一ページに記載することで、学習内容を一目で振り返ることができる構成になっている。</p>	<p>○二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが多く、「よくあるまちがい」や発展的な内容などで、目的に応じてICTを利用できる。</p> <p>○表紙は立体的な楽しさを感じられるよう工夫されている。また、タブレットを活用して同じような位置を探索することで、よりよい学びへの興味が高まるようにしている。</p>	<p>○「算数の学しゅうのすすめ方」では、学び方のモデルが示されており、探究的な学びが進められるようになっている。(2年上p. 4-7)</p> <p>○「見方・考え方を深めよう」では、数量の関係や問題の条件に着目して解決する文章題を扱い、思考力を育成するための工夫がされている。(2-6年)</p>	<p>○「未来へのとびら」では、算数で学んだ知識や考え方を深め、仕事に役立っている人の姿を知ることなどで、子ども達自身の学びを未来へと広げるための工夫がされている。(6年p. 230)</p> <p>○仁摩サンドミュージアム、雲州そろばん、出雲大社が掲載されており、島根に関連した教材となっている。(3年下p. 61, 98, 4年下p. 19)</p>	<p>○全ての主問題で、二次元コードから「解説動画」の視聴ができ、災害時などの休校時においても学びの保障ができるようになっている。(1年p. 30)</p> <p>○夏休みの前に自由研究のコーナーを設け、見方・考え方を深める活動を例示し、探究活動の楽しさに触れられるよう工夫されている。</p>	<p>○めばえ・めあて・まとめの構成により、問題発見及び問題解決の過程のサイクルによる学習が進められるようになってきている。(6年p. 106)</p> <p>○二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが豊富で、目的に応じたICT活用が促進されるようになってきている。(6年p. 143)</p>
L	<p>○数学的な見方・考え方が明記されており、見通しを立てたり筋道を立てて論理的に思考したりするための着眼点となっている。(3年上p. 128)</p> <p>○練習→わかっているかな→たしかめよう、といった段階がわかりやすい構成となっており、つまずきの発見や基礎的・基本的な内容の定着を図るようになってきている。(4年上p. 22-24)</p>	<p>○ペア対話のモデルをイラストと吹き出しで提示することで、ペア対話を促そうという工夫がされている。(4年下p. 48)</p> <p>○「ひょうとグラフ」の単元では、1年生へのプレゼントを題材とすることで、2年生に進級した児童の必要感にせまる工夫がされている。(2年上p. 12)</p>	<p>○「次の学習のため」のコーナーでは、二次元コードからヒントと答えにアクセスすることができ、家庭学習でも前学年までの内容を復習できる工夫がされている。</p> <p>○テーマごとにまとめられた話題から、興味・関心に応じて課題を選択して学習が進められるようになってきている。</p>	<p>○「自分でみんなで」では、数、式、図などさまざまな表現方法を用いた説明を学ぶことができる。(2年下p. 47-49)</p> <p>○子どもがつまずきやすい内容について「まちがいやすい問題」として掲載し、全国学力調査において正答率が低い問題を重点的に取り扱っている。(5年p. 239)</p>	<p>○「使ってみよう」では、学習したことを生活の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫がされている。</p> <p>○「算数ジャンプ」では、他教科(家庭科「一汁三菜の献立を考えよう」)や日常生活(水の節約)とも結びつけた総合的な算数の問題を取りあげる工夫がされている。(6年p. 142, 196)</p>	<p>○5、6年の教科書には教科担任制を想定し、学びの現在地を示すスピン(しおりひも)をつける工夫がされている。</p> <p>○1年「かずやかたちでたのしく」では、幼児期の活動と算数のつながりが絵本仕立てで描かれている。学習への期待と安心感を抱けるようになっている。(1年①p. 1-13)</p>	<p>○各単元及び巻末の構成が学習の到達度を把握しやすいものとなっており、基礎的・基本的な内容の定着を図るようになってきている。(6年p. 251)</p> <p>○「算数ジャンプ」では、他教科(家庭科「一汁三菜の献立を考えよう」)や日常生活(水の節約)とも結びつけた総合的な算数の問題を取りあげる工夫がされている。(6年p. 142, 196)</p>



選 定 に 必 要 な 資 料

理科

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○どの学年も「理科の学び方」のページがあり、問題解決学習の流れを、分かりやすいように示す工夫がされている。(各学年p. 4, p. 5)</p> <p>○A4版を採用し、見やすさと分かりやすさを両立しつつ、活動や資料を充実させている。</p>	<p>○「水のゆくえ」で自然界の水のゆくえを学習し、「水のあたたまり方」「水のすがたと温度」を学習する流れが、児童の思考に合っている。(4年p. 92, 142, 158)</p> <p>○各単元で二次元コードを読み取ることでデジタルワークシート等を活用することができる。</p>	<p>○「動物のからだのはたらき」では臓器ごとの図が詳しく配置され、それに関連した実験や仕組みの説明が見開きに掲載しており、わかりやすいよう工夫されている。(6年p. 31, 33, 39)</p> <p>○各単元末の「理科の世界探検部」では、単元で学習した科学的事象に合わせて生活に身近な事象の解説があり、興味関心を高める工夫がされている。</p>	<p>○プログラミングの仲間分けのアルゴリズムを磁石につくものと電気を通すものまとめに活用しプログラミングの思考を使っている。(3年p. 147)</p> <p>○「変わり続ける大地」の単元末の「理科の世界探検部」において、山陰海岸の写真や隠岐のジオパークがとりあげられ身近な地域の地層に興味をもてるようにしている。(6年p. 118)</p>	<p>○各単元末の「理科の世界探検部」では単元で学習した科学的事象に合わせて生活に身近な事象の解説があり、生活と理科を結びつける工夫がされている。</p> <p>○各学年の巻末「つなげる算数科で学んだことを活用しよう」が設定され、算数との関連が丁寧にとりあげられており、実験の結果の集計がきちんとできるように配慮されている。(3年p. 171)</p>	<p>○実験によって、結果が記録しやすいよう、教科書に記入できるようになっている。(4年p. 41, 5年p. 130)</p> <p>○二次元コードを利用した学び方を紹介したページがある。また、指導者や保護者への注意喚起をする内容も記載されている。(各学年p. 5)</p>	<p>○内容が精選され重量と1ページの情報量の両面において児童への負担を軽減するよう配慮している。(3年p. 177, 4年p. 201, 5年p. 169, 6年p. 201)</p> <p>○デジタルコンテンツには、実験の方法、話合いの例、理科ノート、デジ問等を掲載し、繰り返し視聴することで、学習に向かいやすいよう工夫されている。(各学年巻末)</p>
B	<p>○各学年巻末の「理科の学びに役立てよう」の中に15～24ページの分量をとって記録の整理の仕方や実験機器の使い方、学年のまとめ、次年度で学ぶことなどがまとめられている。</p> <p>○どの学年にも理科の学び方のページがあり、問題解決学習の流れが分かりやすいよう工夫されている。(各学年p. 2, 3)</p>	<p>○「わたしたちの体と運動」では、簡単な模型を作ることで、腕が動く仕組みや構造を児童が理解しやすいよう工夫されている。(4年p. 117)</p> <p>○単元の配当で理科室を使用する単元が学年間で重複しないようになっている。</p>	<p>○3年巻末の「おもちゃショーを開こう！」ではこれまで学んできたことを生かしておもちゃを作る内容が掲載してある。(3年p. 186)</p> <p>○「人やほかの動物の体のつくりとはたらき」では、「中学校で学ぶこと」などの発展的な内容にも触れられており、興味・関心が高まるよう工夫されている。(6年p. 51)</p>	<p>○起こりうる災害についての理解を深め、自分事として捉え実際に役立つ備えを学べるように構成している。(5年付録、6年p. 148, 149)</p> <p>○「しりょうりかのたまてばこ」では、科学館や博物館・動物園・植物園等へ行ってみたいよう促す記載があり、学習をさらに発展させることができるよう配慮されている。(3年p. 48 4年p. 23 5年p. 188, 189 6年p. 133)</p>	<p>○「じしゃくのふしぎ」では、小学6年生児童の発明をとりあげ、身近な生活に役立つものを作るという児童の興味・関心を引き出している。(3年p. 172)</p> <p>○各学年の巻末「理科の学びに役立てよう」が設定され、算数との関連がとりあげられており、実験の結果の集計ができるように配慮されている。</p>	<p>○「人のたんじょう」では、胎児や子宮の様子についての産婦人科医師の説明役立つものを作るという児童の興味・関心を引き出している。(5年p. 162)</p> <p>○5. 6年の巻末にチャレンジ問題が設定してあり、「全国学力・学習状況調査」の問題や、その分析結果から浮かび上がった課題を意識した問題が充実している。</p>	<p>○どのページも見やすい配置や色使いになるよう工夫されている。また、デジタルコンテンツが豊富で、個別最適な学びがしやすいよう工夫されている。(3年p. 67)</p> <p>○身近な材料を用いた実験が紹介され、児童が事象に気づきやすい工夫がされていたり、新しい実験機器、用具が紹介されていたりする。(3年p. 81)</p>



選定に必要な資料

理科

N O . 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○わくわく理科という教科書名にもあるように単元の最初に理科の楽しさが分かるような写真で興味を引き、探究意欲を高めようとしている。(各学年p.1)</p> <p>○単元導入では「はじめに考えよう」、単元末では「もう一度考えよう」と同じ問いを再考することで、単元の前後で学びの深まりを確認できるよう配慮されている。(5.6年)</p>	<p>○学びのサイクルを見つける、調べる、まとめるとして明示し、結果を次ページに配置することで、児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。(各学年)</p> <p>○巻末に、理科の見方・考え方をはたらかせることや日常生活でも役立つ場面を紹介することで、学習意欲を高める工夫をしている。</p>	<p>○巻末にある「植物たんけんシート」や「こん虫たんけんシート」は、野外活動に携帯できるようにしてあり、生き物観察に興味をもてるよう工夫されている。(3年巻末)</p> <p>○各学年巻末の「ものづくり広場」ではこれまでに学んできたことを生かして、ものづくりをする活動を通して、児童の興味関心をさらに高める工夫がされている。</p>	<p>○「大地のつくりと変化」では、山陰海岸の写真や隠岐のジオパークがとりあげられ、身近な地域の地層に興味をもてるようにしている。(6年p.148-149)</p> <p>○児童が安心して観察・実験に取り組めるよう、特別支援の観点から、文字とアイコンを組み合わせた、わかりやすいマークを掲載している。</p>	<p>○各学年の巻末「資料室」に「算数のまど」が設定され、算数の技能を用いてデータ処理等をする手立てが示されている。(3年p.180,4年p.194,5年p.186,6年p.210)</p> <p>○各単元末に「活用しよう」を設定し、学習したことを日常生活の事象と結びつけて思考できる工夫が取り入れられている。また、わからなかった問題については、二次元コードから解説動画を見ることができるようになっている。</p>	<p>○「発電と電気の利用」では、プログラミングのシミュレートを通して、エネルギー資源の有効利用について考えることができる。(6年p.183)</p> <p>○日常生活に関連した映像から情報を読み取り、端末上で問題に答えるCBTコンテンツが巻末にあり、学習を振り返りながら、読解力や情報活用能力を育む工夫がされている。</p>	<p>○各学年の巻末「資料室」に「算数のまど」が設定され、算数との関連が丁寧にとりあげられており、実験の結果の集計がきちんとできるように配慮されている。</p> <p>○全学年、導入から計画、実験サポート、まとめまでICTを効果的に活用して学びが深まる構成となるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

家庭科

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各題材で「活動」の内容を順番に行うことで、問題解決的な学習がスムーズに進められるよう工夫されている。</p> <p>○「いつも確かめよう」に基礎的な技術をまとめ、デジタルコンテンツで児童自身が必要に応じて確認できるよう工夫されている。(30・31ページ)</p>	<p>○「話し合おう」や「深めよう」では、デジタルコンテンツを活用し、対話的な学習につながるよう工夫されている。(44・52ページ)</p> <p>○小題材ごとに「めあて」「振り返り」「できたかな?」、見開き1ページの「成長の記録」などで児童自身で学習の振り返りができるよう工夫されている。(6・7・17ページ)</p>	<p>○紙面の下部に「メモ」や「ふり返ろう」、「安全のための注意事項」などを示し、主体的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツ内に「思考ツール」を示し、考えを可視化し主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(37ページ)</p>	<p>○巻頭に衛生・安全を特集した「いつも確かめよう」があり、学びのはじめに調理実習や製作実習等の際の衛生・安全の確認ができるよう配慮されている。(8～11ページ)</p> <p>○夏休み前には、「夏休みわくわくチャレンジ!」が設定しており、学習したことを家庭で実践できるよう工夫されている。(35ページ)</p>	<p>○中学校技術・家庭(家庭分野)や他教科と関連のある学習内容を「関連マーク」で示し、関連付けや見通しがもてるよう工夫されている。(39・113ページ)</p> <p>○「物を生かして住みやすく」では、下級生へ掃除の仕方を伝える活動が示され、学んだことを身近な学校生活で生かせるよう工夫されている。(61ページ)</p>	<p>○関連する内容を5年と6年でできるだけ同時期に配置しており、複式の指導に配慮してある。(1ページ)</p> <p>○5年の早い段階で、SDGsについての特設ページがあり、児童が家庭科の学習を進めるにあたって、SDGsの視点をもてるよう工夫されている。(43ページ)</p>	<p>○各題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで構成されており、問題解決的な学習が進められるよう工夫されている。(4ページ)</p> <p>○「生活を変えるチャンス!」では、実践への意欲がもて、生活とつながるよう工夫されている。(65～67・121・134ページ)</p>
C	<p>○全題材の導入に学習のめあて、マイめあて、ステップ1～3を示し、学習の見通しが立てやすいよう工夫されている。</p> <p>○製作の活用例や作品例が多数掲載され、児童の実態に応じた学びができるよう工夫されている。(26・44～47・114～116ページ)</p>	<p>○意見交換や発表の活動の場が随所に示され、デジタルコンテンツの書き込みカードを使用することで対話的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○5年で11題材と細かく区切り、スモールステップで反復学習ができるよう設定されており、基礎的な学習内容の定着が図られるよう工夫されている。(5ページ)</p>	<p>○紙面の下部にそのページの内容に関連した「豆知識」を示し、主体的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツ内に触って動かす「動作コンテンツ」を示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(19・111・121ページ)</p>	<p>○特設ページ「安全と衛生に気をつけて実習しよう」は、実習の流れに沿って示しており、実習や製作の安全指導がしやすく配慮されている。(142ページ)</p> <p>○家族・家庭分野のステップ3「生かす・深める」で、「生活の見方・考え方」の4つの視点で実践例を示し、家庭で実践しやすいよう工夫されている。(36ページ)</p>	<p>○小学校で学んだ学習をふり返り、中学校の学習に活かせるように中学校の学習内容が写真やイラストでわかりやすくまとめられている。(136・137ページ)</p> <p>○「できるよ家庭の仕事」では、家庭で取り組んだ仕事を記録する活動が示され、学んだことを身近な家庭生活で生かすよう工夫されている。(36ページ)</p>	<p>○題材が細かく区切られ組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導に配慮されている。(4ページ)</p> <p>○「キャリアでつなぐ、持続可能な未来」では、実践者を取り上げ、SDGsへの理解へつながるよう工夫されている。(138～139ページ)</p>	<p>○全体を通して「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」のステップで学習が進められるよう設定されており、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。(6～7ページ)</p> <p>○「生活の課題と実せん」の取組を5つのステップや具体例を示すことで取り組みやすいよう工夫されている。(37・80～83ページ)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

図画工作科

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
C	<p>○学年の段階に応じて、題材の内容と分量が年間授業時数を踏まえて整備されている。(12上26題材から56下25題材)</p> <p>○造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の分野において、学年に応じたバランスを考慮した時数が配当されている。(全学年もくじ)</p>	<p>○関連する題材を前後に配置し、学んだことを次の学習に生かすことができるようになっている。(34下p18～p21)</p> <p>○目次には、各題材の活動が写真と共に掲載され、児童が題材のイメージをもちやすい工夫がなされている。また、各学年の巻末には「これまでのふりかえりをしよう」として、1年間の学習を確かめることができるようになっている。(全学年)</p> <p>○各題材の育てたい三つの資質・能力に沿った「学習のめあて」を明示し、特に重点的に育成を図りたい資質・能力を強調して示している。(全学年)</p>	<p>○各題材の「タブレットたんまつで見よう」のコーナーでは、題材の内容に応じて様々なコンテンツが利用できるよう配慮されている。(全学年)</p> <p>○タブレット端末で、題材のヒントや見方・考え方を紹介する動画を視聴することができる。(全学年)</p>	<p>○出雲市の「一式かざり」が掲載され島根県の伝統文化に着目できる。(5・6上p.57)</p> <p>○インクルーシブ教育への配慮として、初出の漢字にはレビが付けられている。また、色覚に特性のある児童への配慮として、配色や写真・図の配置を工夫している。(全学年)</p> <p>○巻頭には、幼稚園教諭・美術作家達から、表現の楽しさや図画工作を学ぶ意義についてのメッセージが掲載されている。(12下)</p>	<p>○各題材には、「あわせて学ぼう」のコーナーを設け、他教科や学校生活と関連づけて学習することができる。(全学年)</p> <p>○「つながる造形」として、国際交流や福祉教育に関わる内容を取り上げている。(34年上～56年下)また、SDGsの取り組みや作品が、マークとともに紹介されている。(12上p49など)</p>	<p>○各学年に「タブレットたんまつを使おう」のページを設け、発達段階に応じて「集める」「調べる」「表す」「見る」「保存する」の活用例が示しており、ICT教育に配慮されている。(全学年)</p>	<p>○ICT教育の推進に関連し、タブレット端末の活用について、全学年、全題材で様々なコンテンツが利用できるよう配慮されている。</p> <p>○各題材の育てたい三つの資質・能力に沿った「学習のめあて」を明示し、特に重点的に育成を図りたい資質・能力を強調して示しており、指導者・学習者にとってわかりやすい構成になっている。</p> <p>○目次には、各題材の活動が写真と共に掲載され、児童が題材のイメージをもちやすい工夫がなされている。</p>
L	<p>○学年の段階に応じて、題材の内容と分量が年間授業時数を踏まえて整備されている。(12上27題材～56下25題材)</p> <p>○1年生では、保・幼・小の接続に配慮した題材を年度当初に5題材配置している。(12上p7～p17)</p> <p>○造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の分野において、学年に応じたバランスを考慮した時数が配当されている。(全学年もくじ)</p>	<p>○「学習のめあて」は、育てたい3つの資質・能力を5項目に細分化し、具体的な活動の様子で表現されている。児童にとっては活動のゴールが捉えやすく、また指導者にとっても「見取り」がしやすいようになっている。(全学年)</p> <p>○巻頭には、「教科書の使い方」「学習の進め方」、児童へのメッセージが掲載され、図画工作科での学びについて理解し、児童一人一人の創造性を培うことができるようになっている。(全学年)</p> <p>○各巻とも、1年の流れに沿って、行事や季節に応じて題材を選択できるように配列されている。(全学年)(56下p42～p45)</p>	<p>○題材名及びリード文は、児童の興味・関心を引き出し、豊かにイメージできるように表で現されている。また題材名の背景も各題材に合わせた表記の工夫がなされている。(全学年)</p> <p>○新たな発想を広げる手立てとして、思考を整理し表現につながる思考ツールやICTを用いた方法が提示されている。(5・6上p.32～33など)</p> <p>○巻末に「材料と用具のひきだし」として、各学年8ページにわたり紹介し、児童が該当ページを参照しながら、自主的に制作に取り組めるようになっている。(全学年)</p>	<p>○島根県立美術館の動画と石見美術館所蔵の作品、自然の色として浜田市と隠岐の島町の土が掲載され、美術館への興味や郷土への関心につなげることができる。(5・6上p57)(3・4上p.24)</p> <p>○インクルーシブ教育への配慮として、色覚に特性のある児童にとっても見やすいよう、カラーユニバーサルデザインの考えに基づき、配色や写真・図の配置を工夫している。(全学年)</p>	<p>○各題材に「つながる学び」マークとして、他教科、プログラミング、SDGs等との関わりが示してある。(全学年)</p> <p>○「広がる図工」として、地域で協力して作品を展示する様子や、廃材を再利用した作品など、様々な事例が掲載されている。(34下p32・33など)</p>	<p>○協働して取り組むことを促す題材や、お互いの作品を鑑賞し、その良さや違いを認め合う活動の様子を多く掲載している。(全学年)</p> <p>○全ての巻末にアートカードの実践例が掲載されており、対話を通した鑑賞活動が手軽にできるようになっている。(全学年)</p> <p>○12上には、保・幼・小の接続に配慮した題材構成が、56下では、6年間の図画工作科での学びを振り返るとともに、中学校美術科への発展についてのページが掲載されている。異校種間の接続に特に配慮されている。(12下巻頭の題材、56下p66・p67)</p>	<p>○1年生では、保・幼・小の接続に配慮した題材構成が、また、6年生では、中学校美術科への発展についてのページが掲載されている。異校種間の接続に特に配慮されている。</p> <p>○「学習のめあて」は、育てたい3つの資質・能力を5項目に細分化し、具体的な活動の様子で表現されている。各題材の学習内容が、指導者・学習者にとって分かりやすい。</p> <p>○題材名及びリード文は、児童の興味・関心を引き出し、豊かにイメージできるように表現されている。また題材名の背景も各題材に合わせた表記の工夫がなされている点が優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活科

NO. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○スタートカリキュラムの意義や内容が「保護者の皆様へ」として説明されている。また、「つながるひろがる」では生活科の中にある各教科等への「学びの芽」が例示され、児童が各教科のイメージを持って円滑に幼児期から接続できるよう配慮されている。(上p. 1-13)</p> <p>○見開きの右上に「やくそく」という場面が例示しており、生活の中で具体的に考えることができるように工夫されている。(上p. 17, 41下p. 5, 25)</p>	<p>○上巻「はなをさかせよう」では、ページの幅をかえて7種類の花の種・芽・つぼみを掲載し、見比べやすいよう工夫されている。(上p. 28-32)</p> <p>○町探検の探検計画書やまちたんけんマップなどが掲載され、イメージや見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。(下p. 25, 29)</p>	<p>○「ふゆのあそびずかん」「生きもの図かん」など、児童の興味・関心にあわせて自ら調べたり取り組んだりできる工夫がされている。(上p. 98-99 下p. 40, 41)</p> <p>○上巻巻末の「ほんとうのおおきさ いきものずかん」は実際の大きさを描かれており、児童が実生活で利用しやすいものとなっている。また、デジタルいきもの図鑑も楽しく利用できるよう配慮されている。</p>	<p>○「学びをふかめる」コーナーでは、試行錯誤の大切さや疑問に思ったことを尋ねに行く場面を掲載しており、学びを深めることができる工夫がみられる。(下p. 50 p. 75)</p> <p>○校外学習の場面では、幼児、高齢者、外国人など様々な他者と協働して一緒に思いや願いを実現する活動が掲載されている。(上p. 42)</p>	<p>○下巻では、右ページ上に国語や算数などで学習したことをいかす場面が示しており、他教科とのつながりを意識することができるよう工夫されている。(下p. 15, 51)</p> <p>○巻末の「かつどうべんりてちょう」は技能や学び方などがまとめてあり、単元ごとにページも示されるなど随時活用できるよう工夫されている。(上p. 113-120 下p. 103-120)</p>	<p>○板書例や活動例が示され、教員向けに授業づくりのヒントが掲載されている。また、随所に二次元コードが掲載されデジタルコンテンツが活用できる。(上p. 85, 下p. 82)</p> <p>○小単元で育成を目指す資質や能力を、本文とマークで左ページ上部に明示し、教師が指導と評価の一体化を意識できるように配慮されている。(上p. 18 下p. 10)</p>	<p>○いきいきとした活動写真で児童の興味・関心を引き出すとともに、イラストと吹き出しで具体的な児童の姿を例示し、活動意欲を高める工夫がされている。(上p. 52-53, 下p. 86-87)</p> <p>○低学年の発達の段階を考慮し、児童が学んだことを表現する場面で、多様な表現方法が掲載され、二年間で徐々に活動の質が高まるように配慮されている。(上p. 21, 49 下p. 98, 99)</p>
B	<p>○「きもちマーク」や気持ちなどを書く欄があり、児童自身が心の動きが表現することができるように工夫されている。(上p. 3, 17 下p. 7, 21)</p> <p>○二次元コードで、昆虫の動画や遊び方の例などが多く示しており、必要に応じて情報を得られるようになっている。(下p. 34)</p>	<p>○教科書の目次が季節毎に構成されている。春に種を蒔き、夏に花が咲き、秋に種や実になることがそれぞれの季節ごとになっている。(上p. 34, 52, 74)</p> <p>○「町のキラリ」という言葉を中心に春と秋の町探検が中心となるような単元構成になっている。さらに、相手意識をもたせ、表現活動に意欲的に取り組むことができるようになっている。(下p. 58-79)</p>	<p>○「えがおでこんにちは」「春見つけビンゴカード」など教科書から引き離して使うことができ、児童が興味・関心を持って活動できるように工夫されている。(上p. 16 下p. 16)</p> <p>○モノクロ写真を使用し、想像する楽しさ、実際の色を見て知る楽しさを実感することができるように工夫されている。(上p. 82, 83 下p. 22, 23)</p>	<p>○観察カード等短い文章から、手紙や振り返りカード等長い文章を示すことで、二年間を通して、質や量が高まる工夫がされている。(上p. 37 下p. 111)</p> <p>○日本各地のおやつや祭りなどを紹介することで、自分たちが住んでいる地域の文化についても興味・関心を持つことができるよう工夫されている。(上p. 71 下p. 55)</p>	<p>○巻末には「がくしゅうどうぐばこ」「Webがくしゅうどうぐばこ」が掲載されており、学び方や多くの資料を紹介することで、学習に活用することができる。(上p. 130 下p. 114)</p> <p>○SDGsの目標を取り上げるなど、自分たちでもできることがあることに気づかせ、考えるきっかけをつくる工夫をしている。(下p. 48-51)</p>	<p>○「きらきらことば」「せいかつことば」を掲載するとともに言語活動事例も示され、発達の段階に合わせて語彙の獲得に配慮されている。(上p. 3, 下p. 43)</p> <p>○低学年年りの探究のプロセスが分かりやすく表現され、活動の見通しをもつことができるように工夫されている。(上p. 10, 11 下p. 2, 3)</p>	<p>○「～したいな」「きもちマーク」など、教科書に直接書き込めるコーナーを設け、児童が思いを表現しやすいような配慮がされている。(上p. 3, 34)</p> <p>○実生活で活用できるような語彙を増やす工夫がされるとともに、振り返りカードや手紙など、様々な表現活動に生かせるように配慮されている。(上p. 123 下p. 43)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活科

N O . 2

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○上下巻とも、巻頭の目次に月が示されており、1年間の活動の見通しがもちやすくなるよう工夫されている。(上下巻頭)</p> <p>○「ありがとうがいっぱい」では家の仕事に挑戦し、教えてもらったことを友達に伝え、さらに一人でがんばり気づいたことをお手紙にするという流れが分かりやすく記載されている。(上p. 94-100)</p>	<p>○「ものしりのうと」や「ものしりずかん」では、あさがおの様子などが分かりやすく掲載されている。また、二次元コードから具体的な資料がみられるよう工夫されている。(上. 40, 68)</p> <p>○「まちたんけん」「あの人に会いたいな」の単元が手紙にするという流れが分かりやすく記載されている。(下p. 4-35)</p>	<p>○たくさんできた種や咲き終わった後のツルをどうするのか、児童の思考に合わせた表現方法が掲載されている。(上p. 44-45)</p> <p>○「生きものと友だち」の単元では、イラストの中にある生き物の名前をクイズ形式で学ぶ仕掛けがあり、興味・関心をもって取り組めるように工夫されている。(下p. 60, 61 p. 76, 77)</p>	<p>○手作りおもちゃで遊ぶ活動では、人とかかわる場面を大切にしたい具体的な例が写真などで示され、協働的な学びにつながるよう工夫されている。(下p. 92-95)</p> <p>○記録カードに気持ちを表す顔マークをつけることで、カードを見直したときにその時の自分の気持ちを思い出せるように工夫されている。また、多様な表現があることに気づけるようなカードを選んで、提示されている。(上p. 33, 下p. 93)</p>	<p>○たねを数える活動を算数と関連させたり、ダンゴムの飼育・観察の活動と体育を関連させたり工夫されている。(上p. 43 下p. 69)</p> <p>○単元の終わりに「もっとそだてたいな」「もっとつづきたいな」など「もっと～」のページを設けられ、さらに活動を広げたり、自分の生活につなげたりできるよう工夫されている。(上p. 101 下p. 74)</p>	<p>○ページ見開きがひとつの活動単位として示され、見開き右下には次の課題につながるコーナーが作ってあることで、活動と活動がつながっていくよう工夫されている。(上下巻)</p> <p>○「作ってあそぼううごくリサイクルおもちゃ」の単元では、廃材を利用して作ることができるおもちゃが紹介されている。(下p. 80-91)</p>	<p>○上巻、下巻を通して、児童と一緒に成長していくキャラクターを活用し、友達や周りに関わり合いながら変容し、成長していく姿が明確にしている。(上下巻)</p> <p>○巻末には「学びはずか」学ぶ力をつけるためのわざとして、多くの例が紹介されている。(上p. 125-136 下p. 113-128)</p>
F	<p>○「はじめのいっば」では、幼児期の様子をイラストで掲載し、これまでの経験を児童が想起できるとともに教師が幼児期からの学びの連続性を確認できる工夫がされている。(上p. 4-9)</p> <p>○各単元に振り返りの時間「なにをかんだかな」が設定され、児童の気づきが活動内容に合わせて表現できるよう例示され、振り返り方が定着していくよう配慮されている。(上p. 91)</p>	<p>○各単元の始めの見開きの下に、すべての単元が示されており、今どの単元の学習をしているのかが分かる工夫がしてある。(上p10 下p4)</p> <p>○見つける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を「ひんと」で示し、意欲的な活動につながるような工夫をしている。(上p. 27)</p>	<p>○二次元コードを読み取ることで「でじたるずかん」を見ることができるようになっており、児童が調べたことを自分で調べる力を育むことにつながる。(上p. 50-51)</p> <p>○クイズを取り入れて、児童が興味・関心をもって、楽しんで学習に取り組めるように工夫されている。(下p. 18-19)</p>	<p>○「かぞくにくにこ大きくせん」では、様々な家族形態が紹介されており、家族の多様化について配慮されている。(上p. 82)</p> <p>○「のはらカレンダー」では、季節ごとの植物や生き物を見開きで確認できるように工夫されている。(上p. 106, 107)</p>	<p>○巻末の「学びのポケット」では、「ほかの学習とつなげよう」とあり、他教科と関連付けながら、生活科で身に付けたい知識や技能の習得を促す配慮をしている。(上p117 下p109)</p> <p>○単元の終末に「つたえたいな」のコーナーを設け、学習したことを家庭や地域へつなげるような工夫がされている。(上p. 21)</p>	<p>○各単元の最初には「わくわくすいっち」を設けて、思いや願いを大切に学習に向かうための工夫をしている。(上p. 11 下p. 5)</p> <p>○上巻、下巻共に、児童の活動を広げることができるような教師の吹き出しの言葉が表れている。(上p. 11 下p. 15)</p>	<p>○6つの力「きづく～じしんをもつ」がさいころに記載され、見開き左上のところにその時間に引き出した力がわかるように示されている。(上下巻共)</p> <p>○「ぐんぐんはしご」などで自己評価をし、単元や学期ごとにまとめ、振り返ることで、児童の意欲をより高める工夫がされている。(上p. 91, 92)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活科

N O . 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○幼児期からの円滑な接続を図るために、お話作りからスタートする内容となっている。また、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を掲載し、家庭との連携に活用することができるようにしている。(上p.16-17)</p> <p>○単元の終わりに「もっとやってみよう」のコーナーがあり、児童が学習した事をもとに学びを深める工夫がされている。(上p.29)</p>	<p>○ページの右下に「ふりかえろう」のコーナーがあり、その活動で身に付けた資質・能力が示されている。(上p.22-23 下p.16-17)</p> <p>○ダイナミックな単元扉での導入、3ステップでの展開、対話と自分の言葉で表現する振り返り、という構成がされており、学習展開の見通しが持ちやすくなっている。</p>	<p>○「こんなこともあるかもね」では、多様な考えがイラストで示されており、児童が互いの考えを許容しあえる内容となっている。(上p.23 下p.17)</p> <p>○ICTの活用の仕方を紹介しながら、興味・関心をもって活動に意欲的にかかわることができるよう工夫がされている。(上p.35 下p.29,91)</p>	<p>○各単元の最後に振り返る場面を設け、今の自分の気持ちを書いたり、手紙を書いたりする活動を取り入れ、自分の気持ちを書き表す力を高める工夫がされている。(上p.50,74)</p> <p>○全ての小単元で設定されている「学び方のヒント」では、試行錯誤するときの考え方や活動のバリエーションなどが示され、主体的な学びにつながる手がかりとなるようになっている。(上p.46)</p>	<p>○「ひろがるせいかつじてん」には、単元に即した内容のみならず、汎用的な資料も掲載されており、日常に広く活用することができる。また別紙としてかつじょうである。(上下巻末)</p> <p>○単元の終末には、「楽しい毎日につなげよう」として、学んだことを生活に生かそうとする意識を持たせる工夫がされている。(上p.28 下p.22)</p>	<p>○ヨシタケシンスケ氏の絵と言葉から、児童の興味・関心をかき立てられるよう工夫がされている。</p> <p>○「ひろがるせいかつじてん」「きせつのかなかまたち」がついており、取り外しができ、野外での活動に適した工夫がされている。(上巻末)</p>	<p>○児童の活動例として掲載されている写真には、対話をしている場面が多く、対話を通して気づきを深めることを促す工夫がされている。(上p.22,23 下p.30,31)</p> <p>○小単元ごとに学習展開が一目でわかる構成になっていて、児童が意欲をもって、学びを深め、振り返り、次へ繋がる学びの工夫がされている。(上p.22,23)</p>
K	<p>○「がっこうだいすきいちねんせい」では、幼児期の様子が写真で示され、入学までの学びを思い出しながら、安心して小学校生活を送ることができるように工夫がされている。(上p.1-16)</p> <p>○「あきあそびをたのしもう」では、場づくりやどんなおもちゃを作っているかについて、児童が取り組みやすいよう見開きで示されている。(上p.76-77)</p>	<p>○1つの単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されており、その活動がどこに位置付けられているかがインデックスによって分かりやすくなっている。</p> <p>○ページの右下には「もっとななかよくなりたいな」などの言葉が書いてあり、児童の気づきや思いが次の活動につながるように工夫がされている。(上p.57)</p>	<p>○「びっくりずかん」「かくしゅうずかん」「デジタルたんけんブック」が目次のページで掲載され、豊かな表現力や、基礎的な知識・技能を身につけられるよう工夫がされている。</p> <p>○表紙や単元ごとに、二次元コードが掲載され、クイズや動画を見ることができ、児童が自分で必要な情報を得ることができるよう工夫がされている。(下p.72-73)</p>	<p>○命の大切さを感じることができる挿絵を掲載し、自分の身の回りには、たくさんの命があることに気づくことができるよう配慮されている。(上p.62,63 下p.26,27)</p> <p>○家庭でも生活科の学習に取り組めるようなワークシートが紹介してあり、児童が主体的に学ぶことができる工夫がされている。(上p.48)</p>	<p>○生き物の育て方について、外来種を飼う時に気をつける事をSDGsも関連させて記載し、自然環境や生態系保全に気づかせる工夫がされている。(下p.57)</p> <p>○単元終わりの伝え合う場では、言葉・絵・動作・ICTの活用など多様な表現活動が段階的に設定されており、他教科との関連や中学年以降への接続などに配慮されている。(上p.32,46,60,76,104)</p>	<p>○「3年生へのステップブック」では、幼児期や生活科で培った資質・能力を自覚するとともに、3年生への期待感を高め、自信と期待をもって進級できるように工夫がされている。(下巻末)</p> <p>○一年間の振り返りが写真を使ったすごろくで記載されており、自分のこととして振り返りやすいよう工夫がされている。(上p.110,111)</p>	<p>○板書事項や机の配置などが挿絵によって示されており、授業者が授業のイメージをつかめるように配慮されている。(上p.112,113)</p> <p>○単元の導入が、見開きの単元扉と「わくわくタイム」で構成されており、「なぜだろう?」「楽しそう」と児童の心を揺さぶる、活動意欲が高まるような工夫がされている。</p>



選定に必要な資料

外国語科

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○5年は「日本でつながるわたしたち」、6年は「世界とつながるわたしたち」がテーマとなっており、発達段階に応じた広がりをもったテーマ設定となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Unit」数は、5、6年ともに8Unit 9 6ページである。</p>	<p>○導入では、Our Goalの映像を見ることによりそのUnitのゴールを意識しながら児童が学習に取り組めるように配慮されている。(5年 p 8)</p> <p>○ページ下にSmall talk、Sounds and Letterを設けて、帯活動につなげたり、関連するページを探したりしやすいよう工夫されている。(5年 p 9)</p>	<p>○本編では写真やイラストが多用されており、児童が場面を想起しやすいよう工夫がされている。(6年 p 3 8-3 9)</p> <p>○デジタルコンテンツが豊富で単元のゴールやチャッツ等がQRコードでみられるようになっている。</p> <p>○関連するページを探しやすいようになっている。(5年 p 9)</p>	<p>○Unitごとに書く活動Sound and Lettersのページがある。5年がアルファベットの大文字小文字から音、6年が音から読みに取り組めるように工夫されている。</p> <p>○Enjoy Communicationでは、言語活動に向けて、スモールステップで考えられるようになっている。(5年 p 4 4)</p>	<p>○「自分のこと→地域のこと→日本のこと」というように単元構成が工夫されている。(5年)</p> <p>○世界に視野を広げ、SDGsを意識した内容が多く取り入れられている。(6年)</p> <p>○他教科との関連がわかるように教科書に提示してある。</p>	<p>○別冊がついており、表現活動をする際に辞書の代わりとして使うことができ、自主的な活動が期待される。</p> <p>○QRコードを読み取ることによって発音を確認したり、活動の見通しをもったりすることができる。</p> <p>○巻末に活動で使うカードが用意されており、そのまま活用することができる。</p> <p>○教科書に書き込むところが多く、ワークシート代わりに使用することができる。</p>	<p>○見通しをもって、スモールステップで授業に取り組むことができるように構成されている。(5年 p 8-1 3、6年 p 6-1 1)</p> <p>○書く活動が多く取り入れられており、文字への慣れ親しみが自然とできるようになっている。</p>
C	<p>○各学年の巻末に「CAN-DOチェック」があり、1年間の学習事項に見通しがもてるとともに、振り返りもできるよになっている。(各学年 p 1 2 8)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5、6年ともに8Lesson 1 2 8ページである。</p>	<p>○学習のめあてが見開きごとに書かれており、目指す姿がわかりやすくなっている。</p> <p>○Let's Checkでは、ペーパーテストとパフォーマンステストの両方をついた力を確かめることができるよになっている。(各学年 3 回分)</p>	<p>○児童が自らの課題に応じた学習できるよう、単元ごとにデジタルコンテンツが構成されている。</p> <p>○関連するページを探しやすいよになっている。(5年 p 1 5)</p>	<p>○異文化理解の第一歩は自分の地域や国を知ることとし、日本各地にゆかりのある人々、名所や名産などを数多く紹介している。</p> <p>○Sounds and Letterでは、英語を書くページが巻末にまとめてあり、児童が学びの連続性を感じることができるよに工夫されている。</p>	<p>○各単元末に読むことの意味を高めるStory Timeがある。毎回SDGsの目標が掲げられている。</p> <p>○他教科との関連、評価領域、観点がわかるよに教科書にマークが提示してある。</p>	<p>○別冊がついており、表現活動をする際に辞書の代わりとして使うことができ、自主的な活動が期待される。QRコードを読み取ることによって発音も確認できる。</p> <p>○各学年で学んだ表現についてまとめられており、児童が学習を振り返りやすいよに工夫されている。(巻末)</p>	<p>○前の学年で学習したことやコミュニケーションを豊かにする表現がまとめられており、児童が既習事項を振り返ることができる。(5・6年 p 8-1 1)</p> <p>○聞くことから話すこと、慣れ親しんだ英語を文字と結びつける、読むこと書くことの順で活動が並べられており、スモールステップで取り組める。</p>

選定に必要な資料

外国語科

N O . 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
E	<p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5、6年ともに7Lesson 1 1 2ページである。</p> <p>○教科書全体が3つのUnitでまとめられている。「自己紹介をしよう」という大きな目標を達成するため、名前、誕生日、好きな教科などをスモールステップで学んでいく形で展開されている。</p>	<p>○本編はHOP、STEP、JUMPで構成されており、HOPで見通しをもち、STEPで習得した内容を活用してJUMPで表現活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○必要な情報が精選されており、すっきりとして見やすい。</p> <p>○STEPがPart1、Part2と分かれており、それにめあてが示してある。</p> <p>○聞く、話す、読む、書くが段階的に組まれた構成となっている。</p>	<p>○小単元の最初の見開きページのイラストに英単語が記載され、児童の文字への関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○小単元の最初にゴールが示してあり、児童が見通しをもって活動に取り組むことができるようになっていく。(5年 p 1 2-1 3)</p> <p>○関連するページを探しやすいようになっていく。(5年 p 1 2-1 3)</p>	<p>○「英語でこんなことができた！」でその学年で身に着けた内容を振り返ることができる。(各学年 p 1 1 0)</p> <p>○Small Talkのトピックが小単元ごとに示されている。</p> <p>○文字と音の関係がページ下にわかりやすく示してある。(5年 p 4 4)</p>	<p>○日本の名所、名物の英語名が一覧にして示してあり、行きたい場所やおすすめの場所を伝え合う活動に活用できる。(5年 p 9 2-9 3)</p> <p>○英語を使ってプログラミングにも触れることができる。(5年 p 1 0 6-1 0 7)</p>	<p>○別冊がついており、表現活動をする際に辞書の代わりとして使うことができ、自主的な活動が期待される。QRコードを読み取ることで発音も確認できる。</p> <p>○児童が知っている世界のお話を使って「聞くこと」の学習ができるようになっており、負担感が軽減できる。</p>	<p>○3つの大きなまとまりの中を見通しをもって学習が進められるようスモールステップの単元構成となっており、見通しをもって取り組めるよう工夫されている。</p>
F	<p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5年が9Lesson 1 1 6ページ、6年が8Lesson 1 0 8ページである。</p> <p>○教科書の冒頭にロードマップがあり、学びの見通しが立てやすい。</p> <p>○基本1ページに1つの活動があり、シンプルでわかりやすい単元構成がされている。</p>	<p>○Let's Watchで世界の様子から世界と日本の違いに気づいたり、言語活動の様子を見て単元でする活動の見通しをもつことができる。</p> <p>○Lessonごとにゴールと振り返りを記入する欄が設けられており、どのような力をつけたいかイメージをもつことができる。</p> <p>○インプットが豊富で、無理なくアウトプットにつながる言語活動が設定されており、聞くこと、話すことを中心に段階的に読むこと、書くことを学ぶことができる。</p>	<p>○本編では写真やイラストが多用されており、児童が場面を想起しやすいよう工夫がされている。(6年 p 3 0-3 1)</p> <p>○活動シール、カード、ワークシートなど巻末教材が充実しており、児童の表現意欲を引き出すことができるよう工夫がされている。(5・6年巻末)</p> <p>○アルファベットの点つなぎ等文字や音声に少しずつ慣れ親しみ、ステップアップできるように工夫がされている。</p>	<p>○「知らない英語の言葉に会ったら」では、先生に聞く、和英辞典を使って調べる等児童が主体的に取り組めるよう工夫がされている。(6年 p 9 9)</p> <p>○英語を書く時のルールがまとめてある。(巻末)</p> <p>○読むこと、書くことをスモールステップで進めることで児童の負担感を減らす工夫がされている。(6年 p 6 1)</p> <p>○文構造への意識を段階的に育む活動が設定されている。(ICT活用)</p>	<p>○国語や道徳で扱った教材を題材にし、読むことへの負担感を軽減し、達成感を感じられるよう工夫がされている。(5年 p 8 6、6年 p 6 6-6 9)</p>	<p>○日本の名所・名物や外国の名所・名物を示すための地図が折り込みで入っており、見やすいように工夫がされている。(5年 p 6 6、6年 p 5 6)</p> <p>○巻末にMy Word Bankがあり、単語を確認できるようになっている。</p> <p>○Sounds and Letterでは、似ている発音の文字を2つずつ取り上げ、発音の違いや英語とカタカナ語の違いを考えながら、文字に慣れ親しむことができるよう工夫がされている。(5年 p 5 0)</p>	<p>○ICTの活用や活動シール等児童の興味関心を高め、主体的に取り組める工夫が多くされている。</p> <p>○基本1ページに1つの活動があり、シンプルでわかりやすい単元構成がされている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

外国語科

N O . 3

記号	選定に必要な資料の観点						総 括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○「〇年生でできるようにすること」では、領域ごとに学習したことが確認できるよう工夫されている。 (5・6年 p 8-9)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Unit」数は、5、6年ともに8Unit 1 10ページである。</p>	<p>○本編はHOP、STEP1、STEP2、JUMPで構成されており、HOPで見通しをもち、STEPで習得した内容を活用してJUMPで表現活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○ページの下部にある「発音」では、発音のポイントをわかりやすく示している。(5年 p 7 2)</p>	<p>○単元のゴールでは、「～のために」と目的が示しており、児童が目的をもって学習に取り組むことができる。</p> <p>○アニメーションを通して、目的、場面、状況がわかり、児童の興味を惹くことができる。</p> <p>○年間の自分の学びが可視化されるよう巻末に成果が一览できるシートがある。(巻末)</p>	<p>○「いつも大切」では、コミュニケーションにおいて大事なことを確認することができるようになっていく。</p> <p>○Alphabet Timeでは、2年間をかけて段階的にアルファベットや単語、文の読み書きが学べる設計になっている。</p> <p>○既習表現を引き出すためにSmall TalkのミニアニメやPhrase Huntで使える表現を見ることができる。(ICT活用)</p> <p>○Small TalkのトピックがHOP、STEPの1時間ごとに示されている。</p>	<p>○日本語と英語の共通点や相違点を考えることで深い学びが実現できるよう工夫されている。(6年 p 60)</p> <p>○他教科との関連がわかるように教科書にマークが提示してある。(5年 p 6 6)</p>	<p>○取り外し可能な別冊がついており、表現活動をする際に辞書の代わりとして使うことができ、自主的な活動が期待される。QRコードを読み取ることで発音も確認できる。</p> <p>○各学年3か所にまとめの活動が設定されており、各領域の到達度を確認することができる。(5年 p 4 6 -4 7)</p>	<p>○単元のゴールとスモールステップで進めていく構成になっており、見通しをもって取り組みやすい工夫がされている。</p> <p>○互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が工夫されており、コミュニケーション能力の育成が図られている。</p>
K	<p>○活動が精選されており、1 単元時間の内容が余裕をもって指導できる分量となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Unit」数は、5、6年ともに8Unit 1 3 2ページである。</p> <p>○各学年の巻末に「Can-Do List」があり、単元ごとに身につける力がわかるようになっている。</p>	<p>○本編はSTEP1、2、3で構成されており、STEP 1、2で慣れて、STEP 3でコミュニケーションを楽しむ表現活動ができるよう工夫されている。GOALとSTEPのめあてが提示されている。</p> <p>○書き方のコツが示され、児童が意識して書くことができるよう工夫されている。(6年 p 1 3)</p>	<p>○「Did you know?」では、Unitに関する様々な情報を扱っており、Activityに活用することができるようになっている。</p> <p>○児童にとって身近な人物や多様な写真を取り上げることで興味・関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○Activityでは、ペアやグループの活動場面を多く設定しており、友だちとのやり取りから気づきを促せるよう工夫されている。</p> <p>○読むこと、書くことを丁寧に指導ができるよう工夫されている。</p>	<p>○QRコードを読み取り、家庭学習や自学に活用することができる。</p> <p>○児童の作品例には地域性が出るものを用いており、実生活につなげることができる。(5年P73)</p>	<p>○巻末に会話を楽しむフレーズ集があり、項目ごとに整理されているため、活用しやすい。</p> <p>○巻末にワードリスト、歌、ゲームのルール等がまとめられている。</p>	<p>○話し方、聞き方、やりとり等コミュニケーションに大切なことがまとめられている。</p> <p>○読むこと、書くことを丁寧に指導ができるよう工夫されている。</p>

選定に必要な資料

特別の教科道徳

N O . 1

記号	選定に必要な資料の観点					総括 (感性を育む要素を含む)	
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫		6. その他
A	<p>○「はしのうえのおおかみ」では道徳的価値に迫る場面でイメージがしやすいようなイラストや写真が掲示してある。また価値を押しつけるような表現を避け、文章が精選されている。(1年p. 34)</p> <p>○「見えた答案」では、人物の心情を説明する文言が削減され、児童の多様な考え方を引き出せるように配慮されている。(5年p. 19)</p> <p>○1年生の入門期では、イラストに一言つけただけのシンプルな内容になっている。子どもがそこから多くのことを想像できるように工夫されている。</p> <p>○各学年、読みやすい分量で用意されているし、その分量によってフォントや字の大きさも考えられている。また、全体的に優しい配色になっている。</p>	<p>○各学年とも、いじめ防止にかかわる内容が「いじめ」「いのち」「じぶん」という3つのユニットで構成されており、繰り返しいじめの防止について考えることができるように工夫されている(3年p. 37, 67, 129)</p> <p>○「日ごろの気持ちをつたえよう」では、絵を選んで実際に手紙を書く活動を通して価値にせまることができるよう工夫されている。(4年p. 69)</p> <p>○書く内容項目が満遍なく学習できるように教材が選択されているが、中でも3教材用意されている内容項目が、ABCDの中に1つずつある。軽重をつけて指導できるように工夫してある。</p>	<p>○低学年の教材を中心に大判の写真やパズル等児童の興味を引くような教材を扱っている。(1年p. 46, 82)</p> <p>○朗読や字幕付きスライドショー、デジタルノートが利用できる二次元コードが全教材についており、児童の関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>○「ぼくは「のび太」でしたー藤子・F・不二雄」は、児童の親しみやすいキャラクターが取り上げられており、興味関心が高まる工夫がされている。(2年p. 134)</p>	<p>○「愛華さんからのメッセージ」では、島根県出身の児童が書いた本をとりあげ、島根の児童の興味を高めている。(6年p. 104)</p> <p>○高学年の「いじめについて考えようでは、法律や条約を提示し、児童の見方や考え方を広げるよう配慮されている。(6年p. 36)</p> <p>○3年「作品のかけ」は、著作権を扱った教材である。なかなか学ぶ機会の少ないテーマだが、デジタルコンテンツを扱うことが多くなる学校において、課題に適しているといえる。</p>	<p>○「ふっかちゃんの町じまん」では日本各地のキャラクターも紹介されており、自分の県に興味をもち、社会科等と関連させて学習できるよう工夫されている。(3年p. 20)</p> <p>○教材末に「つながる・広がる」として、他教科と関連付け発展的な学びを促す工夫がある。また、その部分が児童にもよくわかるようにアイコンで表示され、自ら学ぶ児童を手助けする構成になっている。</p> <p>○「かくしたボール」では、実生活と関連させて考えられるように工夫されている。(2年p. 34)</p>	<p>○思考ツールの紹介のほか、4年生以上には心情円が付属して紹介されており、考えを可視化することで、児童が多様な考え方があることに気づくための配慮がある。(6年p. 193)</p> <p>○多様性、人権に配慮した挿絵を取り入れている。(1年P. 10)</p> <p>○学習のきろくがあり、題材ごとに自分の感じたことや考えたことを自由に記述できるように配慮されている。</p> <p>○これまで多く道徳で実践4されてきた教材(泣いた赤鬼、青の洞門など)も各学年バランスよく入っており、若手にもベテランにも扱いやすい。</p>	<p>○いじめ防止にかかわる内容が「いじめ」「いのち」「じぶん」の観点ごとのユニットで構成されている。各ユニットを1年間の適時に配当し、いじめ防止について多面的に繰り返し考えられるように工夫されている。</p> <p>○教材末に「つながる・広がる」を配置し、他教科と関連付け発展的な学びを促す工夫がある。</p> <p>○これまでの道徳教育で培ってきた指導の工夫を生かして作ってあるが、令和の日本型教育にも対応できるデジタルコンテンツの豊富さもあり、子どもや教員の幅広いニーズに答えようとする工夫が多い。</p>
F	<p>○内容項目を充足する本教材30本の他、5本の補充教材が掲載されており、学校独自のカリキュラムが作れるよう工夫されている。</p> <p>○高学年の教材に出てくる難しい言葉の多くについて、直接教材文の下に目立つように注釈を設けてあり、内容理解がしやすいよう配慮されている。(6年p. 8)</p> <p>○各学年の段階に応じた分量や内容である。</p> <p>○イラストや写真も多すぎず少なすぎずで使われており、児童の思考を邪魔しないものになっている。</p>	<p>○教材末の学習の手引きには、場面発問とテーマ発問の二つの発問が示されており、児童が多面的・多角的に考えられるように工夫されている。(6年p. 20)</p> <p>○各学年とも役割演技や動作化に取り組むように投げかけたり、自分だったらどうするかと問いかけたり、課題について自分事として考えられるよう工夫されている。(2年p. 39, 56)</p> <p>○定番の教材も多く用意されているが、他にもイラストから考えるもの、漫画、今を活躍する人物の教材など多種多様である。特に人物教材は456年生に多く割り当てられていて、自分のキャリアについて考え出す時期の手助けになるようにされている。</p>	<p>○5・6年の教材には、写真やグラフ、図表などを多く使い、興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年p. 107, 112, 6年p. 139)</p> <p>○各学年二次元コードがついており、教材の理解を助けたり、学習を広げたりすることができるように工夫されている。</p> <p>○各教材の冒頭のキャラクターが吹き出しで導入となる発問を示している。ここを活用することで児童は教材への興味を高めたり、学習への関心や問題意識を持ったりすることができる。</p> <p>○学習の手引きには「考えよう、深めよう、つなげよう」のように発問の流れが用意されており、道徳科の授業が教材文からの学びだけにとどまらないように工夫されている。</p>	<p>○各学年に「モラルスキルトレーニング」を取り入れた教材が設定されており、体験を通して人としての行動について考えを深められるよう工夫されている。(6年p. 80)</p> <p>○低学年の巻末には「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけていきたいよりよいふるまいについて紹介されている。(1年p. 150, 2年p. 148)</p> <p>○各学年ユニット教材が用意されている。いじめ、情報モラルを基本の軸としながら、各学年の発達段階に応じてユニット教材で扱うテーマを変えているところが特徴的である。</p>	<p>○高学年教材では、LGBTQについて考えるきっかけとなりうる教材を配しており、偏見をもたず差別をしない心の育成に配慮がされている。(6年p. 50)</p> <p>○各学年で重点テーマを設定し、「教材+コラム」の構成をユニット化し、学びを広げることができるようにしている。(4年p. 20, 24)</p> <p>○巻末で資料には、SDGsを扱った資料が4ページにわたって用意されており、道徳科の学習に関わっているか知ることができるようになっている。</p>	<p>○教材末にはまなびチェック欄が設けられており、自分の学習がどうだったかを短い時間でも振り返ることができるようにしている。また、巻末の「学習を振り返ろう」「一年間の学習を振り返ろう」のページは、切り離せるようになっており、学期ごとの評価、一年間の評価に活用できるよう工夫されている。</p> <p>○授業によって使い方をかえることができるよう工夫されている。</p> <p>○多様性・人権に配慮した挿絵を取り入れている。(1年p. 6)</p> <p>○UD教科書体を使用し、読みやすいように工夫されている。</p>	<p>○低学年の巻末には「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけていきたいよりよいふるまいについて紹介されている。(1年p. 150, 2年p. 148)</p> <p>○学習の手引きに、場面発問とテーマ発問が提示されたり、役割演技や動作化の活動を多く取り入れたりと、多面的・多角的に考えるための工夫がされている。</p> <p>○教材の構成にこだわりを持って作っていることを感じた。しかし、学びの手引きで発問の流れも用意されており、若手の教員にも道徳の授業が作りやすいようにしている。</p>

選定に必要な資料

特別の教科道徳

NO. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○各学年適切な内容と分量になっている。</p> <p>○教材数は35プラス付録教材数点となっており、学校の重点の内容項目によって指導する教材をアレンジできるようになっている。</p> <p>○見開きいっぱいイラストがあり視覚的に内容を理解できるよう工夫されている。(1年p1~5)</p>	<p>○「学びの準備」というページが用意されている。(3年P136など)学習の前に自分の経験や考えを掘り起こし、主教材に入るような構成をした教材があり、授業前に十分な準備をしてから学習に取り掛かることができるようにしている。</p> <p>○「心をかよわそう」などのページがあり、話し合いの仕方や友達との接し方を学べるよう工夫されている。(2年P34など)</p> <p>○読み物教材にとどまらず、一枚絵の状況から考えるようにする教材など、豊富な種類がある。(6年P65-69)</p>	<p>○道徳の学びが主体的になるように「考えるヒント」のページが用意されている。ここでは、児童からの考えを引き出すための指導の手立てが紹介されており、教材に付属して使うことができるようになっている。</p> <p>○各学年に1箇所生命の尊さの教材のあと「感じよういのち」のページが設けられている。体験的な活動を通して命の学習に関心が持てるよう工夫されている。</p> <p>○「夢を実現するために」では夢をかなえた野球選手がその実現のためにしたことを具体的に掲載し、児童も共感できるように工夫されている。(5年P16)</p>	<p>○対話が欠かせない道徳の授業を意識しており、高学年の教科書では、年間の要所で話し合いについてのコツやトレーニングを行う教材が用意されている。また、正解が一つではない問題を対話を通して考えていくような活動も用意されている。(6年P171-173)</p> <p>○3年以上の巻末に、日本各地の伝統文化や地域の活動が紹介され、自分の住む地域の良さを追究しようとする学びの助けとなっている。(3年p174)</p>	<p>○巻末に「この教科書が目指した姿」が掲載されており、現代的な課題や他教科とのかわりについて確認できるようになっている。しかしそれは教師や保護者が確認できるようになっていて、子どもは教材に先入観なく入ることができるよう工夫されている。</p> <p>○「わたしたちの校歌」では、音楽や国語など他教科につなげることができるよう工夫されている。(4年P88)</p>	<p>○教科書の重量が軽い。</p> <p>○教科書巻末に1時間ごとの学びを振り返る「学びの記録」が用意されている。学年によって振り返る形式が変わっており、各学年の発達段階に応じたものとなっている。</p> <p>○全学年で「道徳で使う言葉」が掲載され、表現力を育むための工夫がされている。</p>	<p>○全体的に児童が考えを深めたり、対話のスキルを高めることで学びを深めていけるように工夫された内容である。</p> <p>○内容項目の小さくくりごとにカラーが決められており、それをもとにしてページがカラーリングされているので、授業のテーマが児童にも意識されやすいようになっている。</p> <p>○迫力があり美しい挿絵や写真がダイナミックに配置され、児童の感性に訴えるような効果を生み出す工夫がされている。</p>
L	<p>○個性の伸長や感謝の内容項目が重視されており、新教材が用意されている。(6年P62貝塚博士など)</p> <p>○教材の内容な、分量などは各学年の発達段階に応じたものとなっている。</p> <p>○年間の授業時数分の教材に追加して付録の教材が3編ほど用意されている。</p>	<p>○基本的どの学年にも「自分や周りの人を大切にしよう」というテーマがあり、それに合わせて重点として扱っている内容項目やいじめ防止ユニットなどが構成されている。道徳の授業を単元として考えて、いじめ防止のユニットは年3回設定されている(6年)</p> <p>○複数教材で「ぐっと深める」が設定され、問題解決的な学習や体験的な学習、またさまざまな手法を取り入れた展開が例示されている。(1年P70)</p>	<p>○各教材のページには、内容項目の視点A~Dに合わせてアイコンが設定されていて、子どももその学習が何に関わるか一目でわかるようになっている。</p> <p>○教材への導入的な発問としてフクロウのキャラクターが吹き出しで発問例を出しており、子どもたちが前向きに学習に取り組めるような工夫がされている。</p> <p>○「のび太に学ぼう」では、児童に親しみのあるキャラクターの素敵な面を見ることで自己の生き方を考えることができるように工夫されている。(5年P6)</p>	<p>○現代の諸課題について扱った教材が豊富に用意されている。例えば1年P96「学校のかえりみち」では高齢者との関わりから福祉について考えることのできる教材となっている。</p>	<p>○コラム「心のベンチ」では、道徳的価値を深く、多面的多角的に考えるようにいじめ、情報モラル、SDGsなどのテーマで様々な活動を取り上げている。コラムの右下には他の教科との関連が示されていて、児童も他教科との関連がわかりやすくなっている。</p> <p>○巻末「見つけた！ここにもどうとく」には、各学年で扱った内容項目と関連する写真が提示され、道徳科で学んだことを身近な生活とつなげて考えられるよう配慮されている。(2年p166)</p>	<p>○道徳ノートが用意されており、自分の考えたことが記録できるようになっている。2年生以上はノートには教材名が入っているだけで、あとは教師の裁量で使用方法を考慮することができるようになっている。</p> <p>○役割演技・言語活動・図式化など、思考を深めるための手立てが具体的に示されている。</p>	<p>○教科書のどの教材にもQRコードからデジタルコンテンツにジャンプできるようにしており、令和の日本型教育を意識した作りになっている。</p> <p>○こぶしマークで示されたぐっと深めるの教材では、道徳科の授業の工夫例として問題解決的な学習や体験的な学習が取り入れられている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科道徳

NO. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括 (感性を育む要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
O	<p>○巻頭のオリエンテーションでは、見通しをもって道徳を学べるように、問いを見つけ、考えを深め、授業後に広げていく一連の学習の流れを紹介している。 (全学年p. 2-9)</p> <p>○標準の35時間(1年は34時間)に加え、1年は6本、2～6年は5本の付録教材を掲載し、児童の実態に合わせて入れ替えて指導できるように工夫されている。</p> <p>○クラスや学校生活を取り上げたもの、偉人の伝記、道徳で多く取り上げられてきた名作などを、読み物、漫画、写真、一枚絵など幅広い表現方法で教材化している。</p>	<p>○「すてきなことば『あふたあゆう』」「一年生のお世話係アフター・ユア」では、同じ活動について視点をえらぶとともに、学年をまたいで取り上げる構成になっている。 (1年p. 76, 6年p. 10)</p> <p>○教材本文以前には、キープレーズが提示され、問いをもとに学習できるよう配慮されている。</p> <p>○各学年に独自の重点内容項目が用意されている。 (1年p. 108)</p> <p>○生命の尊重について重点的に学ぶことができるよう教材数を多くしている。命について考える教材が2つ続けて掲載している。 (2年p. 139)</p>	<p>○一枚絵や大きな写真、漫画、実話に基づく教材など、意欲・関心を高める工夫がされている。 (1年p. 152, 4年p. 128)</p> <p>○デジタルコンテンツでは、関連資料や音声、教材理解サポートのための画像等の他に、教材に登場する人たちからのメッセージを視聴することができる。児童の関心を高めるように工夫されている。 (5年p. 122)</p> <p>○教科書巻末に「学びの足あと」のページが用意されている。学習の記録を残すことができ、自らの成長が実感できるようになっている。表情のマークや矢印など視覚的な振り返り要素も用意されている。 (全学年)</p>	<p>○各学年の教材に付随したコラムが用意されており、学びが道徳の授業だけにとどまらない工夫がされている。道徳科が要となって学校教育全体で行う教育となるように配慮されている。</p> <p>○「シンボルマークにこめられたもの」では、島根県の県章がとりあげられ、地域への関心を高めている。 (5年p. 48)</p> <p>○全学年の重点主題「いじめを生まない心」と「情報モラル」について、各学年に応じた内容で継続的に学ぶことができるように工夫されている。 (2年p. 17-23)</p>	<p>○現代的課題を取り上げた教材が多く用意されている。性格や特徴が異なる他社と認め合うために大切なことを考えることができる。 (4年p. 42)</p> <p>○レジリエンス、キャリア教育など多岐にわたる課題について考える教材がある。</p> <p>○「へこんでも立ちなおる」を全学年に設けて、児童自身が自分の心の力について考え、自分の良さや可能性を認識し、自己肯定感を高める工夫がされている。 (2年p. 104)</p> <p>○各教材末の「ひろげよう」では、学んだことを他教科、家庭や学校での生活、地域社会へのつながりをもたせ広げていくためのポイントを示している。 (3年p. 13)</p>	<p>○「みんなでやってみよう!」は、発達段階に応じて、よりよい人間関係を築くためのスキルが身に付けられるようになっている。 (全学年)</p> <p>○多面的、多角的に考えることができるように、発達段階に応じた思考ツールが掲載されている。解説もあり、使いやすいうまく工夫されている。 (1年p. 6)</p> <p>○多様性、人権に配慮した挿絵を取り入れている。 (1年p. 10)</p> <p>○日常生活にある出来事から道徳の授業で考えることにつながるように、各学年にオリエンテーションのページが設けられている。 (全学年)</p>	<p>○「へこんでも立ち直る」を全学年に設けて、児童自身が自分の心の力について考え、自分の良さや可能性を認識し、自己肯定感を高める工夫がされている。</p> <p>○巻頭に「ゆたかな心」が設置され、各学年で「何を、どのように学ぶのか」を明らかにし、目的意識をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 (全学年p. 2-9)</p> <p>○現代の多岐にわたる社会的問題に対して、児童が興味や関心を持つことができるよう、教材の内容や発問、付属のコラムなどによく工夫がされている。</p> <p>○絵や写真が多用され、文字情報だけでなく視覚から得た情報からも考えることができるようになっている。</p>
P	<p>○高学年になるほどじっくり読んで考えることのできる内容や分量となっているが、多くの教材は4ページくらいまでまとめられており、扱いやすい。</p> <p>○「森のみんなと」では、誰の言葉かわかるようにセリフの上に登場人物の名前が書いてあり、内容理解がしやすいよう配慮されている。 (2年p. 20)</p>	<p>○各学年の発達段階や実態に応じて内容項目の中で重点にする部分に複数の教材が充てられているが、命に関する部分などは、どの学年通しても3教材用意されている。</p> <p>○教材末は、道徳的価値について考える発問や自己を振り返る発問に絞って掲載されており、授業時間や発達の段階にあった適切な数、内容となるよう配慮されている。</p>	<p>○5年P5 2 ミッキーマウスの誕生では、子どもにも人気があるミッキーマウスを取り上げて興味を持たせるようにしている。他にもいじめについての教材で有名な演出家やジャーナリストの言葉を取り上げるなどの工夫がされている。</p> <p>○教材末には「おすすめの本」が紹介されており、児童の興味関心が継続できるように工夫されている。</p>	<p>○「ないものはない」では、海士町を教材として取り上げ、自分の住む町のよさと関連付けて学習できる内容となっている。 (4年)</p> <p>○5年「ひみつのグループトーク」ではSNSについてのトラブルを取り上げている。子どももよく関係するトラブルについて取り上げて、自分事として考えるきっかけにすることができる。</p>	<p>○各学年、「深めよう」というページが用意されている。例えば3年P105では「自分と異なる意見が出たら」として、意見が対立した際の対処について考えることができるようになっている。このような実際に学校生活を送る上で避けては通れない場面での考え方について学ぶことができる工夫がされている。</p> <p>○教材名の下には、現代的課題マークが示され、社会と自分とのつながりを探ることができるように工夫されている。</p>	<p>○各学年に用意されている「心のパスポート」のページでは、役割演技を通して考える工夫につながるものが用意されている。</p> <p>○巻末には「つなげよう広げよう」のページがあり、心に残った話や出来事を振り返ったり、次の学年の自分へメッセージを書いたりできるようになっている。 (3年p. 156)</p>	<p>○現代的な諸課題について考えることのできる教材について独自のマークをつけて、指導者も学習者もいしきできるように工夫されていることなど、道徳科の学びを道徳科だけでなく道徳科だけでとめないような工夫がされていた。</p> <p>○道徳科で昔から長く扱われてきた教材も大切に残しており、教員の経験年数にかかわらず扱いやすい印象を受ける。</p>